

小學理科訓導

小栗栖香平編述

第一

特37

329

052831-001-4

特37-329

小学理科訓導

小栗 栖香平/編

第1

M21

CAA-0094



明治二十一年三月新刊

小栗栖香平編述

小理新訓導

動物篇上

第一

發行所 東京 朝香屋書店

No. 9225

特37
329

緒言

夫理科ハ字句ヲ習熟シ文章ヲ教フル學ニア

物ノ理ヲ窮ムルノ學科ナリ頃世ニ行ハル、所ノ理科書

ヲ見ルニ徒ニ文飾ニ流レ爲ニ兒童腦力ノ大半ヲシテ釋

句解文ノ間ニ費サレテ遂ニ其目的ヲ達スルヲ能ハザル

モノ多シ是輒近教育家ノ深ク憾トスル所ナリ我友真中

直道君並國ニ留學レ去年七月ヲ以テ歸朝ス其携歸ル所

ノ洋籍中ニ理科知識第一年ト名クル書アリ是佛國前ノ

文部大臣ポール、ベル氏ノ近著ニシテ最博ク佛國小學校

ニ行ハル、所ノ書出版後三年間ニ發賣シタル部數實ニ

五十萬ニ達セリト云フナリ予借リテ之ヲ讀ムニ文意簡

明例ヲ取ルヲ與近ニシテ理ヲ説クヲ深遠ナリ予私ニ以



小栗栖香平

緒言

二列處藏

爲是豈我國小學理科書ノ缺ヲ補フモノニアラズヤト即
 公務ノ餘暇之ヲ譯述シ客冬始メテ其業ヲ卒ヘタリ獨其
 組織順序等ニ至リテハ往々我國ニ適セザルモノアリ因
 リテ大ニ改訂刪修ヲ加ヘ遂ニ此書ヲ成セリ然リト雖氏
 予ノ淺學或ハ刪修其當ヲ失シ却テ原著者ノ罪人タルナ
 キヲ保セズ故ニ敢テ之ヲ譯書ト云ハズシテ猥ニ編述ノ
 名ヲ附セリ是決シテ功ヲ貪リ名ヲ竊ムノ意ニアラザル
 ナリ

明治廿一年三月上旬

小栗栖香平

識

凡例

一本書言文一致ノ對話体ヲ以テ之ヲ説クモノハ唯達意ヲ求ムルト兒
 童ヲシテ倦怠心ヲ起コサシメザラン爲ナレバ往々野鄙ニ失スルノ
 語ナキヲ保セズ讀者業ニ之ヲ諒セヨ

一理學試驗中成ベク正式ノ器械ヲ用ヒズ勉メテ日常ノ器具ヲ取り之
 ガ代用トナセリ是レ一ハ以テ山村僻地ニ在リテモ容易ニ之ヲ試驗
 スルヲ得セシメニハ以テ物理ノ研究ハ必ズシモ器械ノ一定ヲ要セザ
 ルノ理ヲ知ラシメ三ハ以テ兒童ヲシテ居常目撃スルモノニ就イテ
 推理推考ノ念ヲ起コスノ慣習ヲ作ラシメンガ爲ナリサレバ此書ヲ
 教授スルモノハ徒ニ字句ノ釋義ヲノミ勉メズシテ此書ニ記スルガ
 如キ簡單ノ方法ヲ以テ試驗ヲ施シ生徒ニ愉快ノ念ヲ與ヘ其推理力
 ヲ開發スルノ注意スベシ

一上欄ニ問題ヲ設ケ章末ニ摘要ヲ掲ゲ巻尾ニ作文問題ヲ置クモノハ

皆生徒ノ記憶ニ便シ又教員試問ノ資ニ供スルモノナリ
 一理科ノ套語中ニハ同義ニシテ數名ヲ有スルモノ多シ此等ノ別名ハ
 之ヲ括弧()内ニ挿記セリ例ヘバ反芻類(雙蹄類)ノ如シ然レバ是強ニ
 生徒ヲシテ記憶セシメン為ニハアラズ唯他書ヲ見ルキノ參觀ニ供
 スルノミ

一書中問答体ヲ借リテ説明シタル処ハ必其間ニ一字ヲ缺シ以テ問語
 ト答語ノ別ヲ明カニス

一本書ハ動物植物礦物物理化學動物生理植物生理ノ七篇ヲ八冊ニ分
 カテリ是兒童腦力ノ發育ヲ計リテ之ヲ次第セシナリ其論明法ノ如
 キモ必既約法ヲ用ヒテ端ヲ實事ニ開キ決テ定理ニ論故セリ若夫論
 法ノ迂遠ヲ以テ予ヲ咎ムルモノアラバ是予ノ自ラ甘ンズル所ナリ

編者 識

小理科訓導第一目次

動物篇 上

第一	章	脊骨動物ト無脊骨動物	一	丁
第一	哺乳類			
第二	章	獼猴類(四手類)	三	丁
第三	章	鼯鼠(食蟲類)	五	丁
第四	章	猫族(啗肉類)	六	丁
第五	章	犬族(啗肉類)	八	丁
第六	章	熊族(蹠行獸)	十	丁
第七	章	鼯鼠(啗肉類)	十二	丁
第八	章	無齒類(貧齒類又飲齒類)	十三	丁
第九	章	嚙齒類	十四	丁
第十	章	馬類(單蹄類)	十七	丁
第十一	章	反芻類(雙蹄類)	十八	丁
第十二	章	象(長鼻類)	二十一	丁

第十三章	鯨族(游水類)	二十三丁
第十四章	猪族(厚皮類)	二十五丁
第十五章	有袋族(腹囊類又袋獸類)	二十七丁
第十六章	一孔類(單孔類又鴨嘴類)	二十七丁
第十七章	海豹族(蹼脚類)	二十八丁
第十八章	蝙蝠族(翅手類又翼手類)	二十九丁
第十九章	人類(二手類)	三十二丁
第二 鳥類		
第二十章	鳥類	三十四丁
第二十一章	鷲鳥類(猛鳥類)	三十七丁
第二十二章	鷹族(啗肉晝禽)	三十七丁
第二十三章	鴟梟族(啗肉夜禽)	三十八丁
第二十四章	鸚鵡類	三十八丁
第二十五章	鴿類	三十九丁
第二十六章	涉禽類(涉水類)	四十丁

第二十七章	駝鳥類(走禽類又步走類)	四十一丁
第二十八章	有蹼類(水禽類)	四十二丁
第二十九章	燕雀類(小鳥類)	四十三丁
第三 爬蟲類		
第三十章	龜類	四十六丁
第三十一章	蜥蜴類	四十七丁

目次終

小理科訓導第一

博物學

小栗栖香平 編述

動物篇 上

第一章。脊骨動物ト、無脊骨動物。

加藤君、君ハ私ニ、馬ト、蠅トノ相違ヲ、話スコトガ出來マス
 カ、君ニハ、此問ガ、可笑シクアリマスカ、然シ、笑フク計、デハ、
 答ニナリマセン、笑ハズニ、御答ナサイ、先生、馬ハ、大ニ、獸
 デ、蠅ハ、極、小ニ、蟲デス、實ニ其通、デス、然シ、爰ニ、馬ヲ、極メ
 テ、小ニ、寫シ、蠅ヲ、大層大ニ、寫シタ、木版圖ガアリマス、其大
 サハ、能、似テ居マスガ、ソレデモ、馬ト、蠅トヲ、見違ヘルコト
 ハ、アリマスマイ、其大小ノ外ニ、何カアリマセンカ、蠅ニ
 ハ、翅ガアルケレド、馬ニハ、翅ガアリマセン、今度ノ答ハ、

前ヨリモ宜イ。然シ何カノ爲、ニ、蠅ガ翅ヲ失フタトスレバ。君ハ、馬ト蠅トヲ、同ト思ヒマスカ。勿論違ヒマセウ。谷口君、君ハ、他ニ相違スル點ヲ、見出シマシタカ。馬ニハ、毛ガアリテ、蠅ニハ、毛ガアリマセン。嗚呼、君ハ、實ニ、サウ思ヒマスカ。試、ニ、蠅ヲ捕リテ、此増大鏡デ、見テ御覽ナサイ、其體ニ、毛ガ一面ニ、生ヘテ居マセウ。伊藤君、君ハ何カ、善イ説ガアリマスカ。蠅ニハ、足ガ六本アリマスケレバ、馬ニハ、唯、四本ヨリアリマセン。嗚呼、此答ハ、實ニ、能、出來マシタ。後ニ大變、有益ナ事トナリマス。然シ、萬一、兩方ノ翅ト、二本ノ足トヲ失フタ、蠅ガアルトスレバ、ドウデスカ。其他ニハ、何カ、相違スル點ハ、アリマセンカ。諸君ハ、皆無イト答ヘマスカ。嗚呼、其他ニモ、澤山相違ガアリマス。其中デモ、一ツ、最^モ大^キナ、相

①馬ト蠅ハ、肝要ナ相違ノ點ハ、何デアリマスカ。骨ノアル生物ハ、何ト申

違ノ點ガアリマス。

土方君、君ハ、此蠅ヲ壓潰ス^{オシゴク}トガ出來マスカ。左様極メテ、容易ナ事デアリマス。之ヲ壓潰セバ、外部、即^チ皮膚ト、六足ト、兩翅ノ外ニハ、何物モ残りマセン。ソレナラ、馬ヲ、壓潰ス^{オシゴク}トガ出來マスカ。素ヨリ、人ノ力デハ、之ヲ、壓潰スコトハ出來ヌガ、假^シニ、家ガ、馬ノ上ニ、頰^ヒ掛カリタトスレバ、馬ハ、之ガ爲、ニ、壓潰サレテ、一種ノ、軟塊^{オシゴク}ト殘シマスカ。イ、エ。ソレハ、又何故デスカ。何故ナレバ、彼ノ蠅ニハ、微シ^クノ、骨モアリマセンケレバ、馬ニハ、内部ニ、骨ト云フ、硬イ物ガアリテ、之ヲ支ヘテ、居ルカラデアリマス。②シテ見レバ、馬ハ、骨ノアル生物デ、蠅ハ、骨ノナイ生物デアリマセウ。骨ノアル生物ヲ、脊骨動物又ハ、有骨動物ト云ヒ、骨ノ無イ生物

シマスカ。骨ノナイ生
物ハ何ト申
シマスカ。

其_レ他_ハ何
カ違_ヒマス
カ。

紅_ク赤_イ血_ハ
何_レ動物_ニア
リマスカ。

ヲ、無脊骨動物、又ハ、無骨動物ト申シマス。有骨動物ハ、身體
ヲ、骨格デ支ヘマス。骨格トハ、骨惣體ニ與ヘタ、名デアリマ
ス。

此他ニモ、殆_ク之ト同等ナ、緊要ノ相違ガアリマス。(五)須田君
若_ク針デ、此蠅ヲ刺セバ、其疵口カラ、何が出マスカ。色ノナ
イ、汁液ガ出マセウ。ソレナラ、若_ク又、馬ヲ刺シタラバ、何が
出マセウカ。赤イ血ガ出マス。左様、實ニ、赤イ血ガ出マ

ス。(は)シテ見レバ、有骨動物ニハ、赤イ血、即_チ真正ノ血ガアリ
テ、無骨動物ニハ、赤イ血ガアリマセン。是モ亦、一ノ緊要ナ、
相違ノ點ト、云ハネバナリマセン。

摘要 動物中ニハ、有骨動物ト、無骨動物トハ、二種ガアリ
マス。有骨動物ニハ、赤イ血、即_チ真正ノ血ガアリテ、無骨動

物ニハ、赤イ血ガアリマセン。

第一 哺乳類

第二章 獼猴類(又四手類)

嶋田君、君ハ今朝、學校ニ來掛ケ、菓子屋ノ前デ、何ヲ見テ居
マシタカ、何モ、耻カレイ事ハアリマセン。尤_モ、人ノ家前_{サキ}デ、物
ヲ立見スルナドハ、宜_ククナイトデス。然_レ、過去リタ_トハ、致
方ガナイカラ、在體ニ、御話シナサイ。ハイ、猿舞師ノ猿(第
一圖)ガ、頻_ニ御辭儀ヲシタリ、色々ノ藝ヲ爲ルノヲ、見テ居
マシタガ、誠ニ、惡イ事ヲ致シマシタ。サウデスカ、ソレデ
ハ、立見ノ罰ニ、私ガ、猿ノ事ヲ尋ネルカラ、御答ヘナサイ。猿
ノ顔ハ、ドウアリマシタカ。色ハ赤クテ、鼻ハ低クテ、口ガ
サシ出テ、眼ハ茶色テ、ギョロリトシテ居マシタ。左様、アレ

第一圖



猿

が所謂猿眼ト云フモノ
 デス。シテ、犬ヤ猫ノ様ニ
 毛ガアリマシタカ。顔
 ノ外ハ、一面ニ、褐色ノ毛
 ガアリテ、唯、其腹部丈、ハ
 灰色デアリマシタ。云ハ

バ、顔ノ様子ガ、能ク人ニ似タ獸類デアリマス。其手足ハ、ド
 ウデスカ。足デ立ちテ、手デ杖ヲ持チテ、躍ルキニハ、人ノ
 手足ニ似テ居ル様デ、又、四ツニ這フキハ、獸類ノ四趾ノ様ニ、
 サウカト思フト、取落トシタ杖又後趾デ拾フ所ヲ見ルト、
 其足モ、人ノ手ト同様ニモアリ、實ニ、何ト云フテ宜イカ、私
 ニハ、解カリマセン。サウデス、猿ノ四肢ハ、皆、我々ノ手ノ

(に)博物學者
 ハ、備振類又
 何ト申レマ
 スカ。

(に)猿ハ、幼穉
 ノ時カラ教

様ニ、働キマスカラ、(に)博物學者ハ、之ヲ、四手類ト名ケ、人間
 ヲ、二手類ト申レマス。其後肢ニモ、手ノ、働キガアル代、ニハ、人
 ノ、足ノ、様ニ、強クハアリマセン。ソレデ、暫時ハ直立レテモ、
 歩行キマスガ、直ニ、疲ル、カラ、四ツ這ヲスルノデアリマス。
 其猿ハ、子猿デアリマシタカ。其類ニ、皺ガアル所ヲ見レ
 バ、多分、老猿デアリマシタラウ。イヤ、其皺ノ有無ハ、老少
 ノ証ニハナリマセン。ソレハ、喉嚢又ハ、頬嚢ト申シテ、食物
 ヲ含畜スル袋デ、子猿ニモアリマス。然シ、猿ノ出生年月ヲ、
 調ブルニモ及バヌカラ、ソレハ止メテ、藝ハ、何ヲ致シマシ
 タカ。猿舞師ノ口上ニ從テ、色々ナ藝ヲ、致シマシタガ、能
 アノ様ニ、藝ヲ覺エタモノデス。左様、猿ハ、獸類デハアリマ
 スガ、實ニ、人間ニ次デ、伶俐ナモノデ、(に)幼穉ノ時カラ、教育

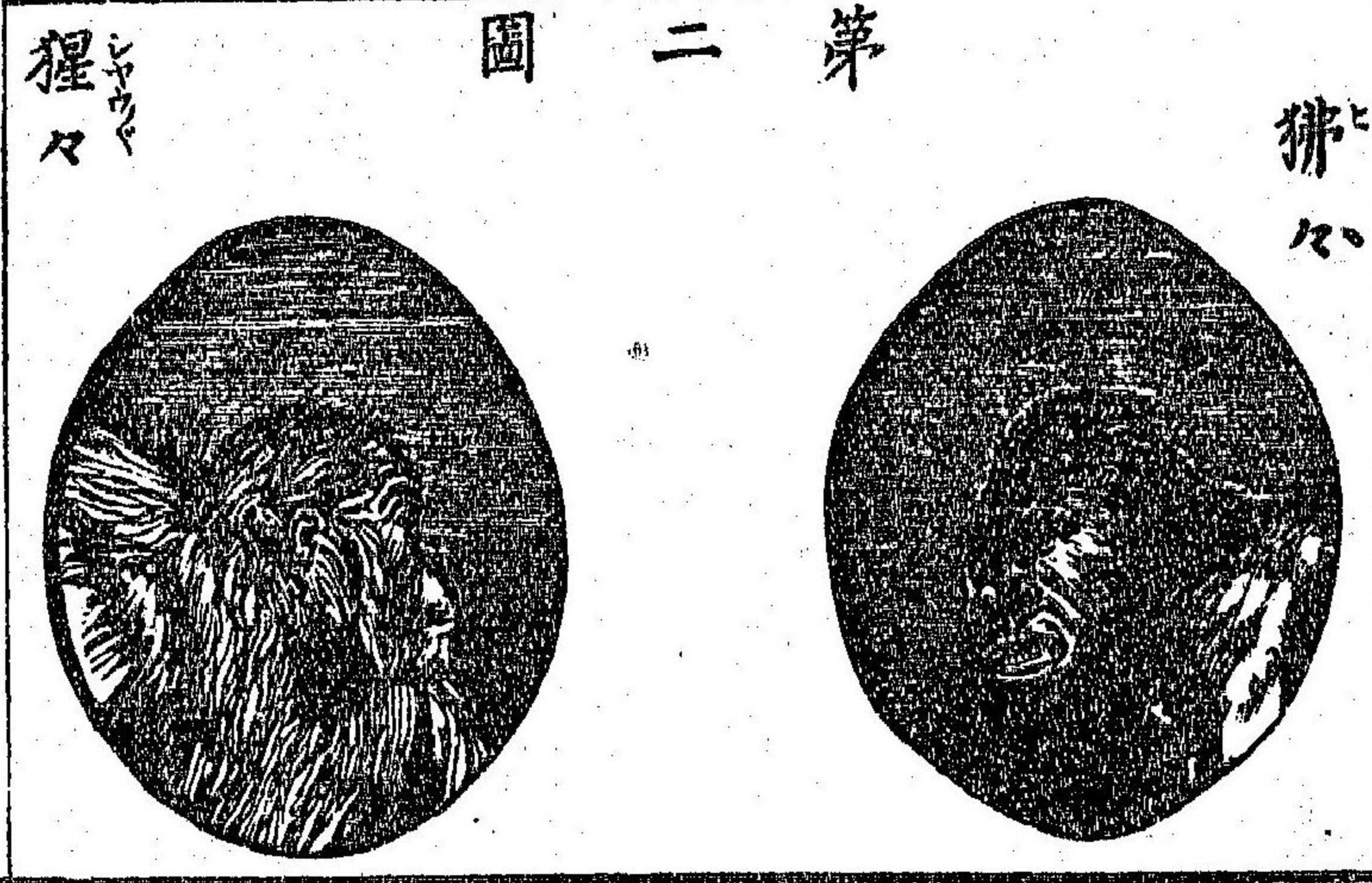
フレバドク
云フ事ヲ覺
エマスカ。

ト、至極込入りタ、演劇サヘモ致シ
マス。人モ、若、勉強シナケレバ、或ハ、無
藝無能デ、猿ニモ、劣ル者ニナリマセ
ウ。

小説杯ニアル、狒々(第二圖甲)ヤ、俗ニ、
酒好ト云フ猩々(第二圖乙)モ、此四手
類ノ一種デアリマス。狒々ハ、亞弗利
加ニ居ルモノデ、其體ハ、橄欖色デ、其
顔面ハ藍色デ、其鬚鬚ハ黄色デ、身ノ
長ハ、凡、六尺モアリマス。(乙)四手類ノ
中デ、一番恐ルベキ、動物デアリマス。(乙)猩々ハ、スマトラ等
ニ産シテ、全身ハ、鐵鏽ノ様ナ褐色デ、手ヲ下グレバ、踝ニ届

(乙)四手類ノ
中テ、何が恐
ルベキ動物
デスカ。
(乙)猩々ノ色
ハ、ドウアリ
マスカ。

第二圖



キ其長ハ、四尺程モアリマス。

摘要

獼猴類ハ、人類ニ次デ、知恵ノ多キ動物デアリテ、四
肢ハ、皆、手ノ様ニ働キマスカラ、又、之ヲ四手類ト申シマ
ス。狒々ハ身ノ長六尺モアリテ、甚、兇猛ナ獸類デアリマ
ス。又、猩々ハ、鐵鏽色デ、手ノ長イ、一種ヲ猿デアリマス。

第三章。鼯鼠(食蟲類)。

諸君ハ、先刻、運動場デ、何ヲシテ居マシタカ、運動場ノ土
ガ、持上がりテ居ルノヲ、犬ガ嗅出シテ、掘リテハ、嗅ギ、掘リ
テハ、嗅ギシテ、居マシタカラ、ソレヲ見テ居マシタ。小泉
君、君ハ、其地ハ、ドウシテ、持上がりタノカ、知りテ居マスカ。
多分、鼯鼠ガ、持上ゲタノカト思ヒマス。其通、デス。鼯鼠
(第三圖甲)ノ足ハ、至リテ短イカラ、地上ヲ步行クニハ、不都

第三圖

頭ハドウア
リマスカ。其
前足ハ如何
此等ノ体附
ニハドウ云
フ、便利ガア
リマスカ。

眼ハドウア
リマスカ。

五ドウスレ
バ、死ニマス
カ。



合ダガ、地下ヲ潜グルニハ、最便利デス。(乙)且、其鼻頭ガ、尖リテ、堅クテ、其前足ハ、斜ニ、體ノ兩側ニ向ヒ、其先ニハ、尖リタ爪ガアルカラ、鼻頭ガ、土ヲ掘リ、足デ、其土ヲ、抓分ケテガラ、體ヲ前ノ方ニ、進マセル様ニ、出來テ居マス。鼯鼠ハ、常ニ、地底ヲ步行キマスガ、偶、地ノ表面ニ、近イ所ヲ潜行スルキニ、彼ノ運動場ニ、出來タ様ナ、土持テ起コスノアリマス。此動物ハ、地底ニ居ルカラ、(丙)眼ハ、極々小サクテ、見エヌ位デスガ、鼻ト、耳ガ、其代、マデモ、勤ムル様ニ見エマス。天性、日光ヲ恐レマスカラ、若、諸君ガ、之ヲ捕ヘテ、(乙)暫時、日光ニ曝シタ

何ノ食ヒ
マスカ。

此動物ノ
害益ハ、如何
デアリマス
カ。

猫ハドウ
シテ、敵ヲ防
キマスカ。

之ヲ捕フ
ル方法ハ、ド
ウデスカ。

ナラバ、直ニ死ンデ、シマヒマセウ。(丙)食物ニハ、昆虫ヤ、蚯蚓ヤ、蝸牛ノ様ナ、地中ニアリテ、植物ノ害ヲ為ルモノヲ、食ヒマスカラ、(乙)作物ノ番兵、農家ノ益友ト云フテモ、宜イ程デス。然シ、中ニハ田圃ヲ荒シ、植物ノ根ヲ害スル杯ト、云フ人モアリマス。何ハ、兎モ角、此動物ハ、決シテ、植物ノ根ヲ、食ハヌコト丈、ハ、明瞭デアリマス。

猫(第三圖乙)モ、矢張、鼯鼠ノ様ニ、蟲類ヲ食物トスル、動物デアリマス。此動物ニハ、全體ニ刺毛ガアリテ、何カ、恐ル、トガアレバ、(丙)直ニ、其身ヲ圓クシ、刺毛ヲ、栗ノ刺ノ様ニ、直立サセテ、其敵ヲ防ギマス。(乙)然シ、人ハ、智慧ガアルカラ、袋ノ中ニ、其圓クナリタ儘、轉バンシ入レテ捕リマス。鼯鼠(第三圖丙)ハ、普通ノ鼠ニ、能、似テ居マスガ、(乙)唯、其鼻ガ、

鼠ニ違ヒマ
スカ。

少シ長クテ、其牙ガ一層、鋭クアリマス。コレハ、其食物タル
昆蟲杯ノ堅イ甲ヲ、喫破ブルニ、便利ナ様ニ、出來テ居マス。

摘要

鼯鼠ヤ、蝟ヤ、鼯鼠ノ類ハ、皆其體ガ小クテ、專ニ昆蟲類
ヲ、餌食トシマスカラ、之ヲ、食蟲類ト申シマス。鼯鼠ハ、普
通ニ、人ノ云フ如ク、植物ノ根ヲ、食フモノデハアリマセ
ン。蝟ハ、刺毛ヲ立テ、敵ヲ防ギマス。

第四章。猫族(啗肉類)。

諸君、我々カラ見レバ、日光ニ曝シタ計デ、直ニ、死ヌル様ナ
脆ロイ鼯鼠ヤ、袋ノ中ニ、轉バシ入レテ、捕ラレル様ナ、智惠
ノナイ狸ハ、必シモ、恐ル、一ハアリマセンガ、此等ノ動物
カラ、取食ハレル、蟲類カラ見レバ、恰我々ガ、獅子ヤ、虎ヤ、熊
ヲ思フ様ニ、恐ロシイ、強敵ト思ヒマセウ。

(た)佛領アル
ゼリヤデハ、
一頭ノ獅子
ノ為ニ、年々、
何程宛ノ損
害ヲ受ケマ
スカ。

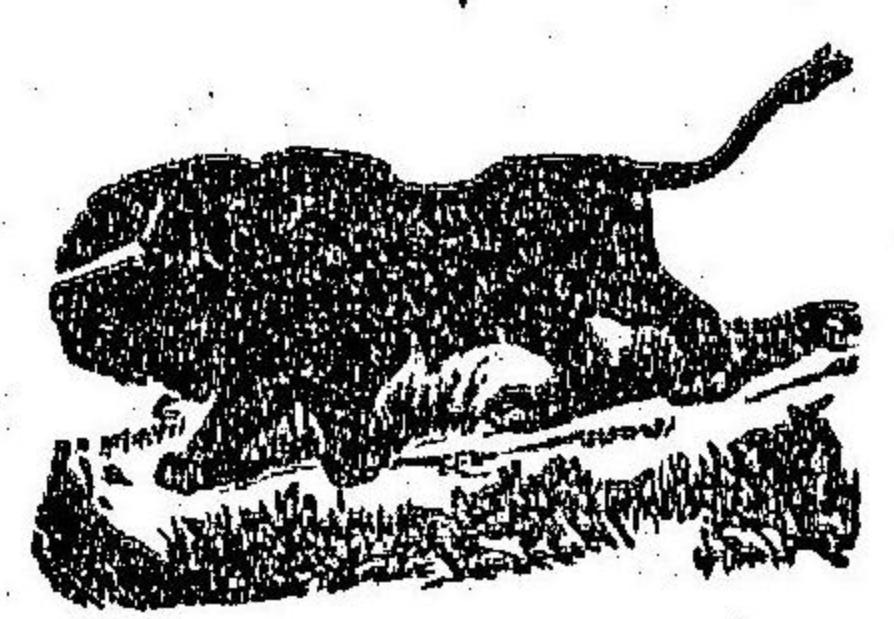
(北)英領印度
デハ、一年ニ
何人、虎ノ為
ニ、殺サレタ

獅子(第四圖甲)ハ、先年、ナリ子ト云フ外國人ガ、我國ニモ、連
レテ來テ、見物ニシタデガアリマシタガ、實ニ、恐ロシイ、勢
ノモノデス。充分、馴ラシタモノデサヘ、アレデスカエ、野生
ノモノハ、何程、恐ロシイモノカ、解カリマセン。幸ニ、我國ニ
ハ、昔カラ、獅子ガ居ナイカラ、結構デスガ、(た)アルゼリヤ(亞
弗利加ノ北部)ト云フ、佛蘭西ノ殖民地杯デハ、家畜ヲ害セ
ラル、計、デモ、一頭ノ獅子ニ付、毎年平均、四千圓程宛ノ損
ヲ、受ケルト云フコトデス。

虎(第四圖乙)ハ、先日諸君ト、動物園デ見タ通實ニ、奇麗ナ斑
紋ノアル、猛獸デアリマス。ソレハ、朝鮮ヤ、支那ヤ、印度等ニ
居マス。(北)西曆千八百七十五年ニハ、英領印度大デモ、虎ノ
餌食トナリタ、人ガ、一年ニ、九百十七人アリタサウデス。實

コトガアリ
マスカ。

第四圖



獅子



丙

鼠ヲ捕ルルキヤ、木ニ上ルルハ、
箇様ニ爪ヲ張リ出シマス。

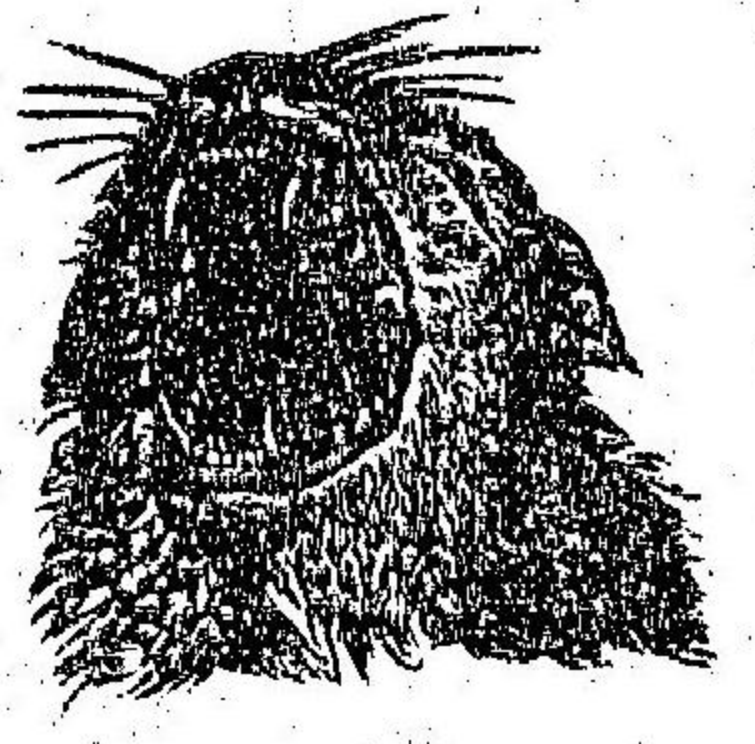


丁

猫ノ口ニハ、前ニ二枚ノ掛牙ト、
奥ニ數枚ノ截齒ガアリマス。



虎



戊

コト猫ノ爪ハ、
ドウアリマ
スカ。

コト獅子七虎
ノ最良イ見
本ハ、何デア
リマスカ。

ニ無殘ナ一デアアリマセン
カ。
今、私が諸君ニ、獅子ヤ、虎ニハ、
ドウシタ、武器ガアレバ、ソノ
様ニ、人類ヤ、家畜ヲ、鬩鼠杯ガ、
蟲ヲ捕ル様ニ、取食フカヲ、御
覽ニ入レマセウ。(乙)此種族ハ、
最完全ナ見本ハ、猫デアリマ
ス。此三毛ハ、私ノ飼猫デ、至極
從順ナ奴デス。先、此足(第四圖
丙)ヲ御覽ナサイ。(乙)鋭ク尖リ
タ爪ガ、生ヘテ居マセウ。然シ

コト猫ノ口ニ
ハ、ドウシタ
齒ガ生ヘテ
居マスカ。
コト猫ノ舌ハ、
ドウアリマ
スカ。

極々大切ナ武器デスカラ、使ハス時ニハ、物ニ觸レテ、鈍ラ
ヌ様ニ、大事ニ、趾端ノ皮ニ、藏メテアリマス。鼠ヲ捕ル時カ
樹ニ上ル時ニハ、日比準備ノ爪ヲ、皮カラ箇様ニ張出シテ
第四圖丁其利鈍ヲ顯ハシマス。又、此口(第四圖戊)ヲ、御覽ナ
サイ。(乙)其兩傍ニ、長ク強ク、且、尖リタ掛牙ガアリマセウ。コ
レデ、其獲物ヲ咬ヘマス。其奥ニ、又尖リタ截齒ガ何本モア
リマセウ、コレハ、鉄ノ刃ノ様ニ、上下相抜ンデ肉ヲ截ルモ
ノデアリマス。又、其舌ヲ御覽ナサイ。(乙)滿面ニ、小ナ刺ガア
リテ、内ノ方ニ曲カリテ居マセウ。コレデ、骨ニ肉ノ着イテ
居ルノヲ、紙レバ、恰下、蠶擦テ、物ヲ擦ロス様ニ、奇麗ニ剥取
レマス。猫ニ就イテ見テモ、此等ノ武器ハ、實ニ能、捕フテ居
マセウ。此割合デ、大クシタ武器デ、彼ノ力ノ強イ獅子ヤ、虎

杯ガ我々ニ向フタナラハ、何程ノ危害デモ、加ヘルコトガ出来マセウカ。實ニ身ノ毛モ、ヨダツ様デアリマス。

摘要

虎ヤ獅子杯ハ、皆他ノ動物ヲ捕リテ、己ガ食物ト致シマス。其四趾ニハ、鋭クテ、強イ爪ガアリ、其口ニハ、長クテ、強キ、鋭イ牙ガアリマス。此種ノ、動物ノ中デ、一番良イ見本ハ、猫デアリマス。虎モ、實ハ、極メテ大ナ、強イ猫デアリマス。

第五章。犬族(啗肉類)。

昨日、猫ノ御話ヲ致シタカラ、今日ハ、犬ノ御話ヲ致シマセウ。諸君ハ、昨夜、犬ガ、頻ニ吠エテ居タノヲ聞キマレタカ、今朝、其譯ヲ聞ケバ、矢野君ノ土藏ニ(ら)盗人ガ、這入ラフトシタノヲ、其家ノ飼犬(第五圖甲)ガ、劇ク吠エタカラ、盗人ハ遂

(ら)犬ハ、ドウ云フ役ヲ、致レマス。

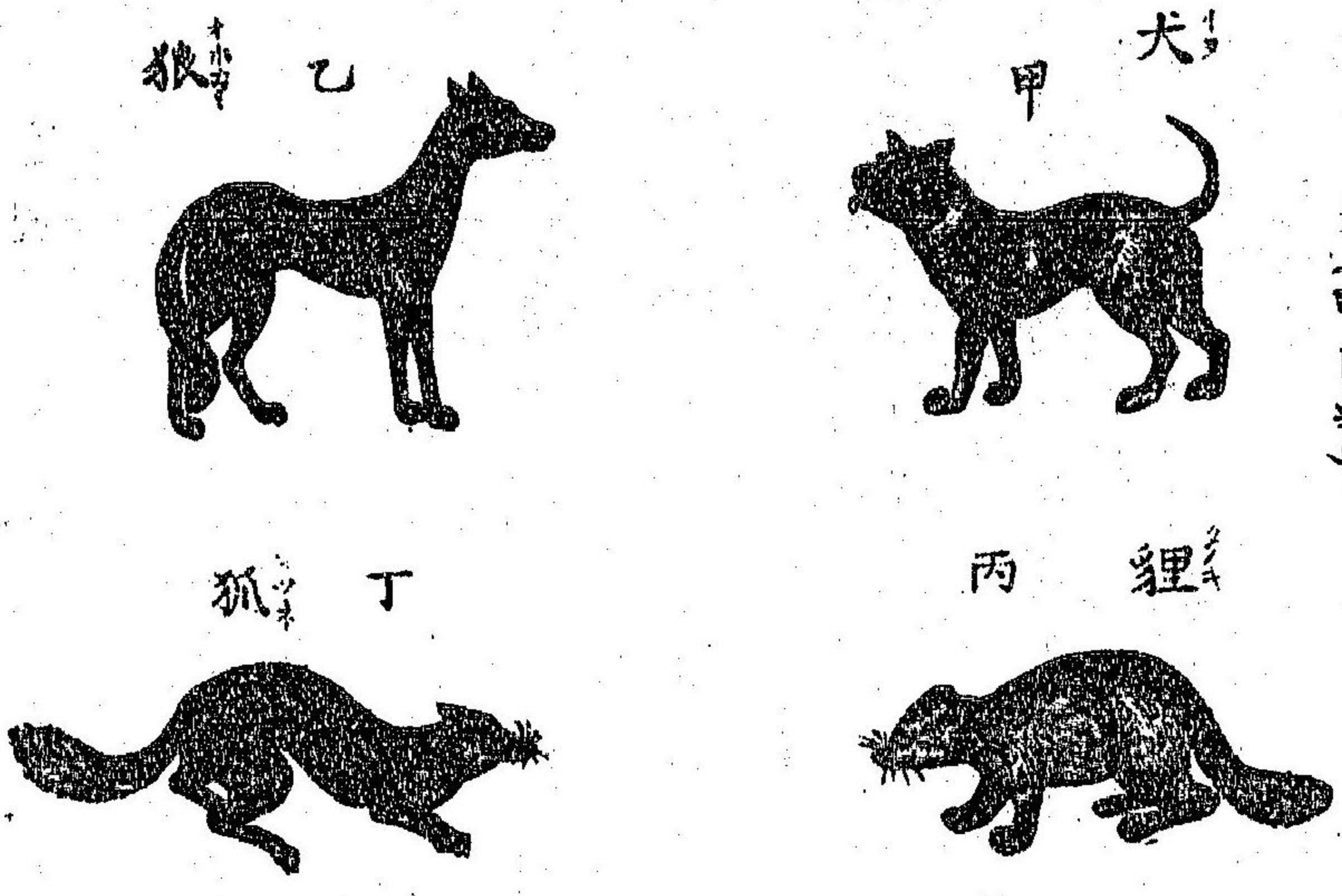
(む)犬ノ爪ハ、猫ノ爪トコト、違ヒマスカ。

下ノ鼻ハ、善ク利キマスカ。其實例ヲ示

ニ、何モ取り得ズニ、逃ゲタト云フコトデス。此一事デモ、犬ガ飼主ニ、忠義ヲ盡クスコトハ、知レマセウ。其牙ハ、猫ノ牙ト能似テ居ルガ、(む)其爪ハ、猫ノ様ニ、鋭ク曲ガリテハ、居ナイカラ、木ニ、上ルコトハ、出来マセシ。然レ、其鼻ハ、大層鋭敏デ、塙ヤ、堀ヲ隔テ、モ、其主人ト、他人ヲ、嗅分クルコトガ出来マス。(了)先年、越前ノ中野村デ、ハ、親犬ノ知ラヌ間ニ、其子ヲ、

第五圖

犬族(啗肉類)



シ給。

一里餘モ、隔タリタ處ニ、連去リクガ、親犬ハ、其道筋ヲ嗅分ケテ、遂ニ、連歸リクコトモ、アリタサウデス。

(五) 豺ハ、ドコニ住
カ、
何ヲ食ヒ
マスカ。
其性質ハ、
ドクアリマ
スカ。
其尾ハ、ド
クアリマス
カ。
其性質ハ、
ドクアリマ
スカ。
其尾ハ、ド
クアリマス
カ。

(五) 豺ハ、家犬ヨリモ、少シ大クテ、癩形デ、何トナク、怖ロシイ相ガアリマス。(六) 常ニ、山中ニ住ンデ、獸類ヲ取食ヒマス。時トシテハ、人類ヲ害スルコトモアル位デス。(七) 其性質ハ、狼ヨリモ、烈シクアリマス。

(六) 狼(第五圖乙)モ、犬族ハ一種デアリマスガ、其體ハ、黄灰色ニ、黒毛ガ、雜リテ居テ、腹部ハ、黄白色デ、少シ垢染ミテ、其前脚ニ、黒線ガアリマス。(七) 其尾ハ、長ク太クテ、踵マデ垂レテ居マス。(八) 性、甚ク殘忍ナ獸デ、飢レバ、同類ヲモ食ヒマス。常ニ隊ヲ結ンデ、家畜ヤ、人ヲ襲ヒマス。

(六) 狸(第五圖丙)ハ、人家ニ接シタ處ニ、穴居スル動物デ、(五) 其體ハ肥ヘテ、脚ハ短ク、喙ハ長ク尖リテ、其尾ハ長大デアリマス。性、甚ク狡猾デ、家禽杯ヲ盗ンデ食物トシマス。(六) 其皮ハ、風櫃ニモ、又、金箔ヲ打伸バ、爲ニモ用ヒマス。

(七) 狐ハ、ドコニ住ミ、何ヲ食ヒマスカ。
ア、家禽ノ為ニ、一番強敵ハ、何デアリマスカ。
ア、其毛色ハ、ドウデアリマスカ。

(七) 狐(第五圖丁)ハ、最ク狡猾ナ動物デ、是モ、狸ノ様ニ、人家ニ接シタ山ヤ、森林ニ穴居シマス。食物ハ、桑ノ實、櫻ノ實等ヲ好ミ、(八) 又、家鶏杯ニ對シテハ、一番怖ルベキ強敵デアリマス。

(八) 其體ハ、淡栗赤色デ、腹部ハ白ク、耳ノ背ハ黒ク、尾ハ、太ク長クテ、口ハ、尖リテ居マス。此狐ヤ、狸ニ就イテハ、種々ナ昔話ガアリマスカラ、諸君モ、此獸ノ一ハ、能ク記憶セララル、コト、思ヒマス。

摘要 犬ハ、一番善ク、人ニ馴ル、動物デ、盜賊杯ノ番ヲ致シマス。其牙ハ、猫ノ牙ニ似テ居ルガ、爪ハ、皮ニ藏マリテ

ト、思ヒマス。

ト、思ヒマス。

ト、思ヒマス。

ト、思ヒマス。

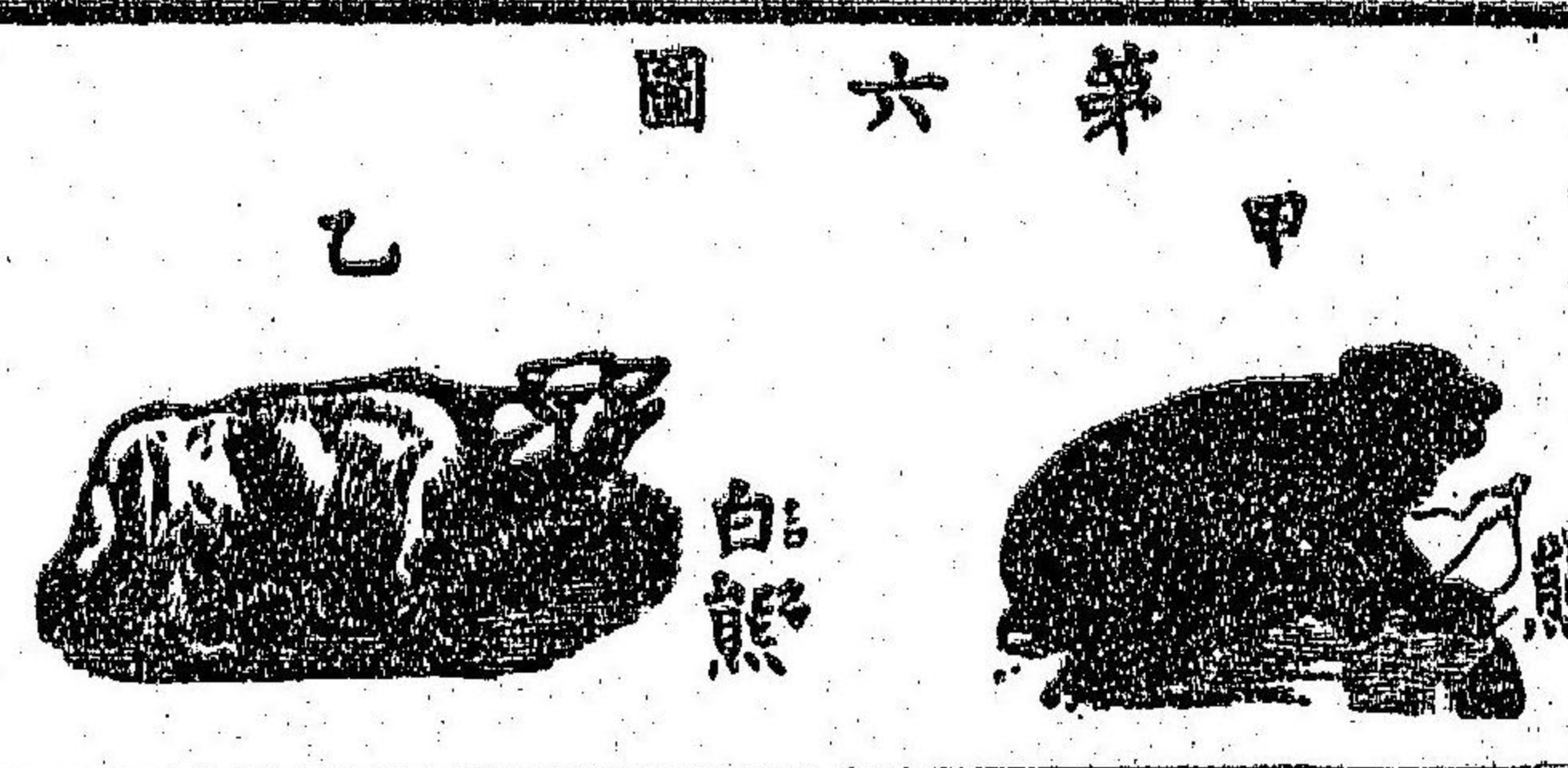
居ナイカラ、鈍クアリマス。然シ、其鼻ハ、尤、鋭敏デアリマ
ス。彼ノ殘忍ナ豺ヤ、狼モ、狡猾ナ狐ヤ、狸モ、其姿ガ良ク、犬
ニ似テ居ルカラ、動物學者ハ、之ヲ、皆犬族中ニ加ヘマシ
タ。

第六章。熊族(蹠行獸)。

諸君ノ中ニ、熊(第六圖甲)ヲ見タ人ガアリマスカ、ハイ、先
日、動物園ニ行イタトキニ、同級ノ生徒ハ、大抵見マシタ。
能覺エテ居マシタ。ソレデハ、アノ時、私ガ、諸君ニ、御話申シ
タ。一ヲ、皆覺エテ居マセウカラ、私ガ、順番ニ尋ネマセウ。中
山君カラ、順番ニ御答ヘナサイ。熊ノ大、サハ、何程位デスカ。
先、五六尺位デアリマス。(さ)左様然シ、北極地方ニ居ル
白熊(第六圖乙)ニハ、長サハ八尺、高サ四尺モ、アルモノガアリ

(さ)白熊ハ、ド
コニ居ルモ
ノデスカ。其
長ハ、何程ア
ルモノデスカ。

蹠行獸



第六圖

マス。シテ、其毛色ハ、先日、見タノハ、黒色デ
アリテ、喉ニ、白色ノ毛ガ、三助形ニ生ヘテ
居マシタガ、今ノ御話デハ、白色ノ熊モ、アル
様ニ思ハレマス。ア、善ク君ハ、氣ガ付キ
マシタ。ソレト云フモ、私ノ話ヲ注意シテ、聞
カレタカラデアリマス。(さ)彼ハ、喉ノ白毛ヲ、
俗ニ、月ノ輪ト申シマス。其次、頭カラ、顔ノ容
體ハ、ドウアリマシタカ。頭ハ、胴ノ割ヨリ
モ小クテ、口頭ハ、尖リ、眼ハ、圓クテ小サク、耳ハ、
直立シテ、小クアリマシタ。頭カラ、胴ヤ、尾
ノ模様ハ、頸モ、共ニ肥太リテ、尾ハ、小クテ、短カクア
リマス。四肢ハ、肥太リテ、丈夫デ、其五趾ニハ、曲ガリタ、

(さ)喉ノ白毛
ヲ、ドウ云ヒ
マスカ。

左様ハ、一
名ヲ、何ト申
レマスカ。
犬ヤ猫ヲ、何
ト申レマス
カ。

鋭イ爪ガアリマス。左様、コレハ、餌食ヲ引裂イタリ、樹ニ
登リタリスルニ、用ヒマス。何ヲ、食物トシマスカ。主ニ、小
ナ獸ヤ、鳥ヤ、魚、其他ノ動物ヲ食ヒマスガ、又、草ノ根ヤ、菓實
等ノ、甘い物ヲモ食ヒマス。其歩行ハ、足ノ何部デ致シマ
スカ。足蹠ヲ着ケテ行キ、又、後趾デ立ツトモ出來マス。
④左様、動物學者ハ、之ヲ蹠行獸ト申シ、犬ヤ、猫ノ様ニ、趾端
デ歩行クモノヲ、蹠行獸ト申シマス。シテ、ソノ性質ハ、先
溫和デアリマスガ、イザト云フ片ニハ、天稟ノ勇猛、輕捷ヲ
出シマス。其効用ハ、毛皮ハ、敷物ニナリ、膽ハ、熊ノ膽ト
云フテ、健胃ノ良藥ニナリマス。諸君能、答ガ出來マシタ。
若、此外ニ、何か尋ネルコトガアルナラ、今度ハ、諸君カラ、私ニ
御尋ネナサイ。ソレデハ、御尋申シマス。熊ハ、何地ニ産シ

め熊ハ、ドコ
ニ産シマス
カ。

マスカ。⑤處々ノ深山ニ居マスガ、其中デモ信州ノ木曾
山ニ尤、多ク産シマス。併、其氣候ニ由リテ、種々ノ類ガアリ
マス。先日、諸君ノ御覽ビタノハ、北海道ノ産デアリマス。

摘要

熊ハ、亞弗利加ヲ除クノ外ハ、世界中、何地ニモ居ル
動物デ、鳥魚、小獸、其他、草ノ根ヤ、菓實、蜂蜜等ノ、甘い物ヲ
食ヒマス。性ハ、元烈クアリマスガ、平常ハ、溫和デス。足蹠
デ歩ク、後趾デ立チマスカラ、之ヲ、蹠行獸ト申シマス。爪
ハ、曲カリテ、鋭イカラ、木ニ昇ルトモ、中々上手デス。

第七章。鼬鼠族(啗肉類)

諸君ハ、皆、鼬鼠(第七圖甲)ヲ、御覽ナサレタコトガアリマセ
ウ。⑥先、全身ハ、赤褐色デ、頭ハ圓ク、耳ハ小サク、足ハ短クテ、頭
カラ胴ハ、細長ク、尾ハ、太ク長クテ、凡、胴ノ半分モアリマセ

⑥鼬鼠ハ、ド
コニ産シマス
カ。

①ドコニス
イマスカ。

②何ヲ食ヒ
マスカ。

③強敵ニ出
逢フトキニ
ハドウ云フ
折マダシマ
スカ。

ウカ。①ヨク人家ノ床下、又ハ、寺ノ堂舎等ニ住
ンデ、石垣ヤ、古穴カラ、ちろく出ル奴デス。②此
動物ハ、鼠ヤ、鳥ヤ、魚ヲ餌食ニシマスガ、決シテ
肉ヲ食フノデハアリマセン。唯、其血ヲ吸フ丈
デスカラ、割合ニ、多量ノ餌食ガ要リマス。ソレ
デ、家禽杯ノ害ヲ受クルトガ、余計デアリマス。
③若、強敵ニ遇フテ、逃ゲルコトノ出来ヌキハ、
其鬣邊カラ、一種ノ臭液ヲ分泌シテ、敵ヲ困ラ
セ、其間ニ危難ヲ免レマス。之ヲ、俗ニ、鼯鼠ノ最
後屁ト申シマス。ア、ホンニ、狐ニモ、同様ハ、防
禦法ガアリマシタガ、私ハ、之ヲ、狐ノ時ニ、御話
スルコトヲ忘レマシタ。

鼯鼠族
啗肉類
甲
鼯鼠



水獺
丙



④黃鼯ハ、ド
ウ云フ形デ
毛色ハ、ドウ
云フ色デア
リマスガ、年
ガ老フレバ、
ナニ色ニ變
ハリマスガ、
セ之ヲ捕ヘ
ルニハ、ドウ
スルガ、良法
デアリマス
カ。
⑤水獺ノ毛
色ハ、ドウデ
スカ。
⑥ドウシテ
水ヲ潜ルコ
トガ、上手デ
スカ。
⑦人ニ使ハ
レテ、ドウイ
フ用ヲ、勤メ
マスガ、

黃鼯(第七圖乙)ハ、鼯鼠ヨリモ、少シ①肥太リテ、毛色ハ、黄色
ガ、リテ、光澤ガアリテ、四肢ノ下部ハ、暗色ヲ帯ビテ居マ
ス。然シ、老獸ニナレバ、淡黄色ニ變ジマス。②此等ノ動物又、
捕獲スルニハ、種々ノ法モアリマスガ、鶏卵ニ、ツノ孔ヲ開
ケテ、其中ニ、番木鱈粉ヲ、必許入レテ、吸ハセルガ、一番妙策
デアリマス。

水獺(第七圖丙)ハ、水邊ニ住ス①全體ガ暗褐色デ、股部ハ少
シ薄ク、喉ハ、殆、白クアリマス。②其趾ニ蹠ガアリテ、尾ハ區
平イカラ、水ヲ潜ルコトガ上手デス。晝ハ、岸崖ノ坎ニ潜伏シ
テ、夜ニナレバ、漁獵ニ出掛ケマス。③ソレデ、人ハ、如才ナイ
カラ、之ヲ飼フテ、漁獵ニ用ヒマス。
④先日以来、御話申シタ、猫、犬、熊、鼯鼠ノ諸族ハ、皆他ノ動物

巨類大食蟻獸
兼採、總名
ハ何ト申レ
マスカ。

ヲ飼食トスルカラ、動物學者ハ、其總名ヲ啗肉類、又ハ殺生
類ト申シマス。

摘要

鼯鼠ハ、小イ獸ノ血ヲ吸ヒマス。又強敵ニ逢ヘバ、腎
邊カラ、惡臭ヲ發シテ、危難ヲ免レマス。黃鼯ハ、鼯鼠ヨリ
モ、少シ肥太リテ、毛色ハ、黄色ニ、光澤ヲ帶ビテ居マス。水
獺ハ、趾ニ、蹼ガアリテ、尾ハ、匾平イカラ、水ヲ潛リ、魚ヲ取
ルイガ、餘程上手デス。

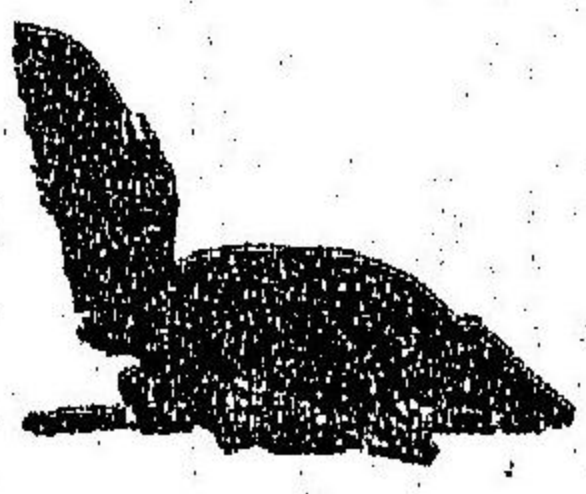
第八章。無齒類(貧齒類、又、缺齒類)。

今日ハ、齒ノナイ動物ノ、御話シテ致シマセウ。中ニハ、齒ノ
アルモノモアリマスガ、門齒ハ、決シテアリマセン。此類ノ
動物ハ、歐羅巴ニハ、一種モナイト云フコトデス。其中、一番
奇妙ナ動物ハ、南亞米利加ノ大食蟻獸(第八圖)デアリマス。

巨大食蟻獸
ノ体ハ、ドウ
アリマスカ。

第八圖

食蟻獸



巨舌ニハ、何
カ附イテ居
マスカ。

其體ハ、尾ヲ除イテ、四尺八寸モアリ、尾ガ、又
二尺四寸モアリマスカラ、眠ルキニハ、身ヲ覆
フ道具ニシマス。齒ハ、一本モアリマセンデ、舌
ハ、尖リテ、凡、一尺四五寸モアリマスガ、(巨其全
面ニハ、泥ノ様ナ、粘着カノアル、唾ヲ被リテ居
マス。大食蟻獸ハ、之ヲ、蟻塚ニ挿入レ、又ハ、蟻ノ通路ニ、出シ
テ置キマス。スルト、蟻ハ、斯ル、伏兵ノアル所知ラズ、之ヲ、乘
越エ、ヤウトスルト、忽、唾ノ爲、ニ、吸着ケラレテ、再、逃去ル
ハ出来マセン。斯クテ、充分ノ、獲物ヲ、釣得タキニ、舌ヲ、口内ニ
引收メマス。性ハ、温和デ、馴易クアリマス。

巨鯨ハ、何
所ニ居マス
カ。

鯨モ、同ク、齒ガアリマセン、全體ニ、角質ノ甲ガ、鱗列シテ
居ルカラ、昔ハ、之ヲ、蜥蜴ノ一種ト、誤認シテ居マシク。(巨亞

弗利加ト、亞細亞ニ産シマレテ、常ニ蟻ヲ食ヒマス。又、其鱗甲ハ、其堅クテ、強敵ニ遇フキハ、鱗ヲ立テ、身ヲ縮メテ、其害ヲ防グト云フデス。

摘要

無齒族ノ内デ、一番奇妙ナ動物ハ、大食蟻獸デス。其舌ハ、長クテ、泥ノ様ナ、粘着カノアル、唾ガアリマス。此舌デ、巧ニ、蟻ヲ吸取ルカタ、大食蟻獸ノ名ヲ得マシク。鮫鯉ハ、全體ニ、堅イ鱗甲ガアリマス。強敵ニ出遇フキハ、直ニ、コノ鱗ヲ立テ、身ヲ縮メテ、害ヲ防ギマス。此等ノ動物ハ、齒ガ、少イカラ、無齒類、又ハ、貧齒類ト申シマス。

第九章。齧齒類。

私ハ、各種ノ啗肉獸ノ中デ、最主要ナモノヲ、諸君ニ、御話致シマシク。コレカラ、少シ、咬菜獸、即、植物ヲ食フモノヲ、御話

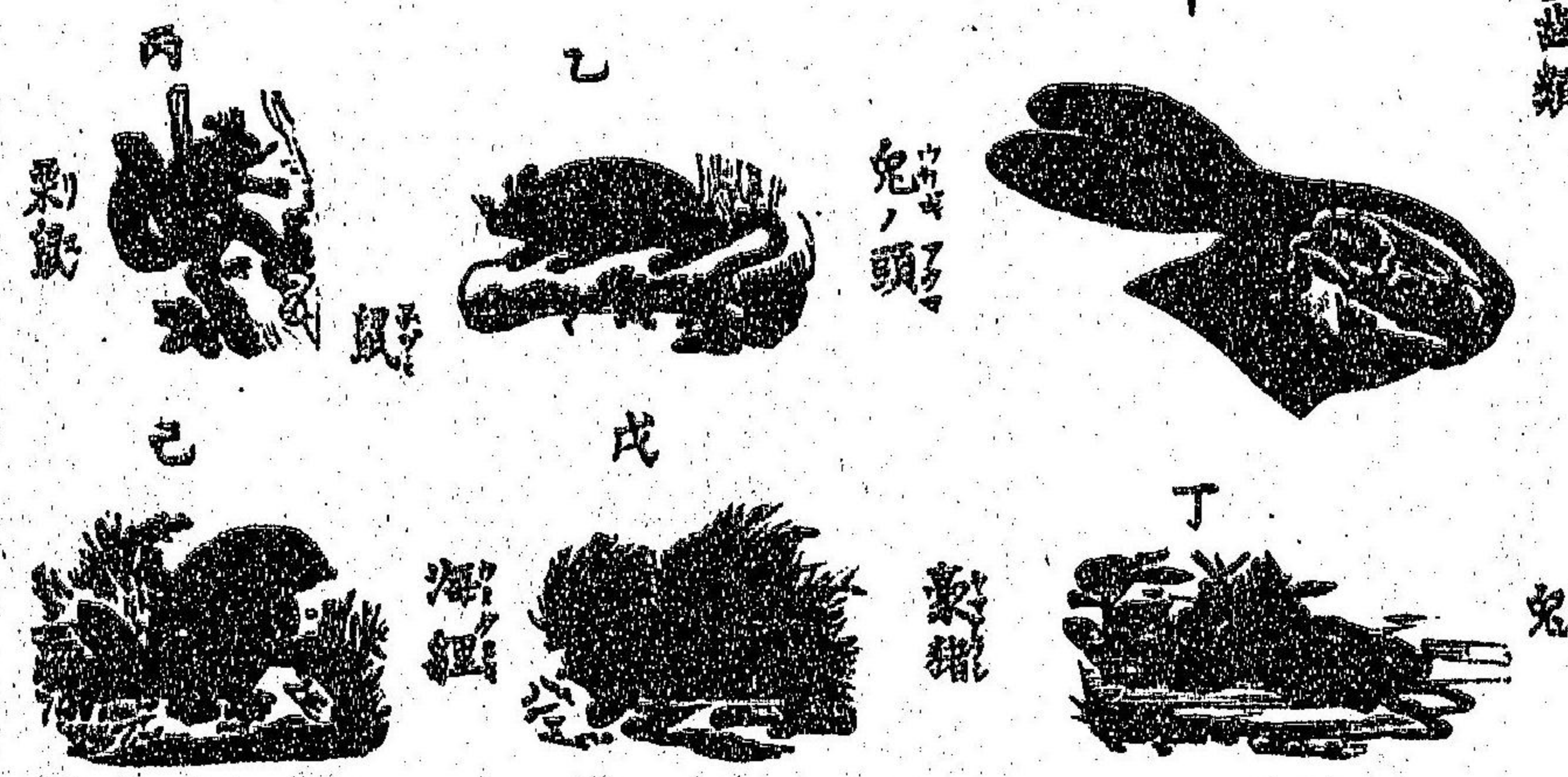
齧齒類ハ、上下ノ齒ガ、アリマス。其下ノ腮ハ、動キマス。此齒ハ、恰、我々ニ伸ビマス。

數レマセウ。其中デ、先、齧齒類ニ着手レマセウ。此ニ、兎ノ頭部(第九圖甲)ガアリマス。御覽ナサシ、(乙)其上下ノ腮ニ、各ニ、一枚ノ長イ齒ガアリマス。コレハ、何デモ、硬イ物ヲ、齧碎ク爲ニ用ヒマス。(丙)其下腮ハ、前後ニ、動ク様ニ、出來テ居ルカラ、硬イ物ハ、前後ニ磨リナガラ、齧碎キマス。コノ爲ニ、幾分カ、齒質ヲ磨耗ラシマス。ヨクシタモノデ、可此齒ハ、恰、我々ノ爪ヤ、髪ノ伸ビル様ニ、何程デモ、根カラ、生長スルノデ、齒醫者ニ頼ンデ、繼齒ヲシナイデモ、差支ハ、アリマセン。イヤ、寧時々ハ、齒ヲ磨耗ラサネバ、伸過ギテ、困ル位デス。アノ鼠ガ、無益ニ、戸ヤ、障子ヤ、簞笥杯ヲ齧ルノモ、多分、齒ヲ磨耗ラヌ手段カト、思ハレマス。齧齒族中、主要ノ動物ハ、栗鼠、兎、海狸、豪猪、鼠ノ諸族デアリマス。我々ニ、一番縁ノ近イ、鼠族ノ

鼠ハ何月
廻レバ子ヲ
産マスカ。

鼠ノ毛色
ハドウアリ
マスカ。

第九圖



席順ヲ斯操下ゲタノハ、我々ノ家
具ヲ傷ツケタリ、又ハ穀物ヲ盗ン
ダリスル、不品行ノ罰デアリマス。
鼠(第九圖乙)ハ、尻尾ノ細長イ、小
ナ動物デ、生レテ、四月程経レバ、子
ヲ産ム者デスカラ、世界中、鼠ノ居
ナイ處ハアリマセン。人家ニ、巢ヲ
造ルモノモアレバ、又、土中ニ、棲ム
モノモアリマス。(丙)其毛色ハ、通例、
淡黒色デ、中ニハ、南京鼠ノ様
ニ、白色ノモノモアレバ、グマ子ツ
ビノ様ニ、黒色ノモノモアリマス。

其穀類ヲ盗ンタリ、又ハ、器具ヲ傷ケタリスルノハ、諸君モ、
能御存知ノ通、デス。鼠ハ、小イケレバ、害ヲスルノハ、鼠ニ
モ負ケマセン。

栗鼠(第九圖丙)ハ、鼠ヨリモ大ク、尾ニハ、フサクシク長イ
毛ガアリテ、常ニ、其背部ニ、負掛カリテ、實ニ愛ラシイ、獸デ
アリマス。天性、甚活潑デ、山林ノ樹上ニ棲ミ、(カ)果實ヲ取り
テ、食物ニ致シマス。中ニモ、栗、胡桃、葡萄ノ類ヲ好キマスカ
ラ、果木ヲ害スル一モ、多クアリマス。

鼠(第九圖丁)ハ、耳ガ、非常ニ、長ク太イカエ、遠方ノ聲ヲ聞
クニ、鋭敏デアリマス。眼ハ、少シ凸起シテ、圓大ダカエ、前後
ヲ視廻スニ、便利デス。口ハ、上唇ガ裂ケ、兩頬ニ、長イ鬚ガマ
リマス。後趾ガ、前趾ヨリモ、長イカエ、山ヲ上リタリ、飛シダ

鼠ノ耳、眼
口ハドウア
リマス。足
ハドウアリ
マスカ。

食物ハ、何
ヲ好ミマス
カ。

栗鼠ノ尾
ハドウアリ
マスカ。

リスルニハ、便利ダガ、山ヲ下リタリ、歩行イタリスルニハ、不都合デス。

豪猪(第九圖戊)ハ、伊太利ヤ、亞弗利加ニ居ル奇獸デ、身長ハ、

二尺余モアリマスガ、(己)背部ニハ、長サ一尺前後ハ、大ナ刺

毛ガアリマス。怒ル片ハ、此刺毛ガ立チテ、カラクト、音ヲ發

レマス。御覽ナサイ、(庚)私ノ此、(ハ)軸ガ、即(大)其刺毛デ拵ヘタ

モノデスガ、白色ト、黒褐色トノ斑ニナリテ、實ニ、奇麗デハ

アリマセンカ。(九)海狸(第九圖己)ハ、歐羅巴ト、亞細亞ノ北部

ト、カナダニ産シマスガ、後趾ニハ、蹠ガアリテ、尾ニハ、鱗ガ

アルカラ、能、泳ゲマスケレ、(イ)魚類ヲ、捕食ハナイデ、(ロ)多久

木ノ葉ヤ、皮ヤ、根ヲ食ヒマス。(ウ)此獸ガ、樹ノ枝ヤ、粘土デ、家

ヲ作りタノハ、實ニ、人ガ作りタノデハナイカト、思フ位、能

(己)豪猪ノ背
部ニハ、ナニ
ガアリマス
カ。
(庚)豪猪ノ刺
毛デハ、何杯
ヲ作りマス
カ。
(九)海狸ハ、何
處ニ産シマ
スカ。
(イ)何ヲ食物
トシマスカ。
(ウ)此獸ノ巢
ハ、ドウアリ
マスカ。

出来テ居マス。

摘要

栗鼠、鼠、兔、豪猪、海狸等ニハ、總ベテ、長クテ、鋭イ門齒ガアリマス。此門齒ハ、我々ノ爪ヤ、髮ノ様ニ、何程デモ、伸ビマスカラ、好ンデ、硬イ物ヲ嚙ミマス。夫デ、此等ノ動物ヲ、嚙齒類ト申シマス。

第十章 馬類 單蹄類

諸君、今、前ノ路ヲ、大ナ音ヲサセテ、行イタノハ、何デアリマシタカ。アレハ、廣瀬君ノ兄サレガ、馬ニ乘リテ、行イタノデアリマス。何故、アンナニ、音が遠クカラ、聞コエタノデセウ。ソレハ、駈ケテ行イタカラデアリマセウ。犬ヤ、猫ハ、駈ケテ行イテモ、アンナ音ハ、致シマスマイ。犬ヤ、猫ハ、馬程、大クナイカラト、思ヒマス。ソレテラ、幸ニ、彼處カラ、

牛が逃げて來マスガ諸君其音ハ馬ノ足音ノ様ニ大ク聞
コエマスカ。成程形ハ馬ヨリモ、牛ノ方ガ却テ大イ様デ

第十圖 (獸食穀) 馬齒

馬ノ足ハ蹄ト云ス
一ノ爪ヨリ外ハアリマセン。
馬蹄
甲
乙
丙
班馬
驢馬

スガ、其足音ハ、馬程、大クハアリマ
セン。諸君、此答ニハ、餘程、困リマ
シタ子。夫デハ、申シマセウ。アレハ、
馬ノ足ニハ、蹄ト云フ、一種特別ノ
一枚ノ硬イ爪ガ、生ヘテ、居ルカラ
デアリマス(第十圖甲)也之ヲ、單蹄
ト申シテ、馬類ヲ、他ノ動物カラ、區
別スル、肝要ナ點デアリマス。馬ノ
形狀ハ、諸君モ、御存知デスガ、唯、其
齒ヲ見タ計リデモ、眞ノ、穀食獸デア

馬ノ齒ハ、
動物カラ、
區別スルモ
ノハ、何デア
リマスガ、馬
類ヲ、何ト甲
シマスガ、

(其齒) 第十圖乙ハ、食蟲類ノ様ニ、銳
ク、尖リテモ居ナケレバ、啗肉類ノ様ニ、刃狀デモナク、全ク、
平坦デアリマス。コレハ、草ヤ、穀物ヲ、舂碎ク爲ノ、臼石ト云
フテモ、宜イ位デス。(其此獸ハ、唯、鼻丈デ、呼吸シマスカラ、其
鼻ノ孔ハ、別シテ、潤クアリマス。(其其上唇ハ、自由ニ運動シ
マスカラ、草杯ヲ、卷込ムニ便利デス。(其亞刺伯產ノ馬ハ、顔
ガ小サク、體ガ大クテ、世界第一等デアリマス。(其我國デハ、南
部、仙臺產ノ馬ガ、上等デアリマス。(其尤、土佐產ノ馬モ、體ハ
小イガ、可ナリ強壯デアリマス。
馬肉ハ、近來我國デモ、盛ニニ食用ニ、致ヌ様ニナリマシタ。
(其尾ハ、種々ノ組物ヤ、編物杯ニ用ヒ、其蹄ハ、櫛、筭、其他ノ
器具ヲ持ヘル、材料トナリマス。私人、此鬘甲ノ靴、篋モ、實ハ、
ニナリマスガ、

ルコトガ、解カリマス。(其齒) 第十圖乙ハ、食蟲類ノ様ニ、銳
ク、尖リテモ居ナケレバ、啗肉類ノ様ニ、刃狀デモナク、全ク、
平坦デアリマス。コレハ、草ヤ、穀物ヲ、舂碎ク爲ノ、臼石ト云
フテモ、宜イ位デス。(其此獸ハ、唯、鼻丈デ、呼吸シマスカラ、其
鼻ノ孔ハ、別シテ、潤クアリマス。(其其上唇ハ、自由ニ運動シ
マスカラ、草杯ヲ、卷込ムニ便利デス。(其亞刺伯產ノ馬ハ、顔
ガ小サク、體ガ大クテ、世界第一等デアリマス。(其我國デハ、南
部、仙臺產ノ馬ガ、上等デアリマス。(其尤、土佐產ノ馬モ、體ハ
小イガ、可ナリ強壯デアリマス。
馬肉ハ、近來我國デモ、盛ニニ食用ニ、致ヌ様ニナリマシタ。
(其尾ハ、種々ノ組物ヤ、編物杯ニ用ヒ、其蹄ハ、櫛、筭、其他ノ
器具ヲ持ヘル、材料トナリマス。私人、此鬘甲ノ靴、篋モ、實ハ、
ニナリマスガ、

小里科訓書
動物篇上
二系及辨

其蹄ハ何ニナリマスカ。

馬蹄デ、作リタモノデス。近頃、山川君ノ、求メラレタ、耳ノ長イ驢馬(第十圖丙)即俗ニ、兎馬ト云フモノヤ、亞米利加ノ、山野ニ産スル、虎斑條ノアル班驢(第十圖丁)モ、此單蹄類ノ、一種デアリマス。

摘要 馬ハ、足ニ、一箇ノ爪ヨリ外ハ、持チマセン。夫デ、之ヲ、單蹄類ト申シマス。其容貌ハ、勇々レク、其性質ハ、敏捷デアリマス。食物ニハ、穀物ヲ好ミ、走ルコトガ、迅イカス人ハ、之ヲ飼フテ、乘駕運載等ノ、用ニ供シマス。驢馬ハ、馬ノ代、ニナリマスガ、班驢ハ、暴クテ、馴ラレニク、アリマス。

第十一章 反芻類(雙蹄類)

諸君ハ、彼ノ牛ガ、外部カラハ、何物ヲモ、食ハヌ時ニ、眼ヲ括ヘ、物ヲ思按スル様ナ顔附テ、食物ヲ齧ムノヲ、見タリガアリマセウ。(一)是ハ、最初、荒喫ミシテ、吞込シテ、芻草ヲ、再、口ニ反シテ、齧直ホスノデアリマス。之ヲ、學問上デハ、反芻ト申シマス。(二)駱駝、麒麟、鹿、羊等ノ、諸族ハ、皆、牛ト同様ダカラ、之ヲ、反芻類ト總稱シマス。(三)此等ノ、諸獸ハ、後齒ハ、馬ノ齒ト同様ニ、平坦デ、(四)其胃ハ、數種ノ、袋カラ出來テ、荒喫ハ、食物ヲ入レル處ト、二度齧ハ、食物ヲ入レル處トハ、別ニナリテ居マス。(五)其足ニハ、二ツノ蹄ガアル(第十一圖甲)カラ、一名、之ヲ、雙蹄類トモ申シマス。

コトヲ、反芻ト申シマス。等ハ、何ト申シマスカ。後齒ハ、ドウアリマスカ。其胃ハ、ドウアリマスカ。一名、何ト申シマスカ。雙峰駝ハ、ドウシタ路産シマスカ。亞弗利加ニハ、何ト云フ駱駝ガ、居マスカ。

先日、諸君ト、一緒ニ、動物園ヲ見タ駱駝ハ、(一)背ニ、二箇ノ瘤ガアリタガ、アレハ、雙峰駝ト申シテ、波斯ヤ、土耳其産ノ、駱駝(第十一圖乙)デアリマス。(二)亞弗利加産ノ、駱駝ハ、獨峰駝ト申シテ、背ニ、一ツノ瘤ヨリアリマセン。(三)此等ノ、動物ハ、至

ナリマスカ、
カ、
①牛ノ角ハ、
ドウナリテ
居マスカ。
②洞角族ハ、
ドウ云ス、動
物ヲ申レマ
スカ。
③内國テ上
等ノ牛ハ、何
地ニ産シマ
スカ。
④世界中テ
ハ、何カ、一番
有要ナ、動物
デアリマス
カ。
⑤牛ハ、生キ
テ居ル間ハ、
何ニナリマ
スカ。
⑥死シタ後
ノ肉ハ、何ニ

ハ骨質ノ凸出物ヲ入レル所デアリマス。⑥此種ノ角ヲ持
チテ居ル反芻類ハ、別ニ、一部族トシテ、之ヲ洞角族トモ名
ケマス。牛ハ、其内テ、一番大クテ、有益ナ、動物デアリマス。
牛ハ、内國各地ニ、産シマスガ、丹波、丹後、但馬等ニ、産スル
モノガ、上等デアリマス。東京邊テ、神戸牛ト云フテ、珍重ス
ルモノハ、皆此等ノ地方カラ、出ルモノデアリマス。
⑦諸君モ、御存知デセウガ、世界ニ、牛程、有益ナ動物ハ、アリ
マセン。⑧先、生キテ居ル間ハ、重イ荷ヲ運搬シタリ、農業ノ
助ヲレタリ、牛乳ト云フ、滋養第一ノ、飲料ヲ與ヘタリ、致レ
マス。⑨サテ、又、死シタ後ノ肉ハ、我々ノ食物トナリ、⑩角ハ
此花生、其他、櫛、鈕ノ様ナ、細工物トナリ、⑪蹄ハ、龍甲擬ノ器
物トナリ、⑫骨ハ、小刀ノ柄ヤ、洋傘ノ柄杯ニナリ、⑬脂ハ、蠟

ナリマスカ、
カ、
①牛ノ角ハ、
ドウナリテ
居マスカ。
②洞角族ハ、
ドウ云ス、動
物ヲ申レマ
スカ。
③内國テ上
等ノ牛ハ、何
地ニ産シマ
スカ。
④世界中テ
ハ、何カ、一番
有要ナ、動物
デアリマス
カ。
⑤牛ハ、生キ
テ居ル間ハ、
何ニナリマ
スカ。
⑥死シタ後
ノ肉ハ、何ニ

燭ヤ、石鹼ヲ製造スルニ用ヒ、⑭筋ハ、綿子ノ弦杯ニナリ、⑮
膽ハ、藥ニナリ、⑯皮ハ、靴、其外各種ノ皮細工ニナリ、⑰血ハ、
砂糖ヲ製シ、又、肥料ニ用ヒ、⑱毛ハ、絨貨ノ原質ヤ、⑲サトナ
リ、⑳膀胱ハ、水囊等ニ用ヒマスカラ、何ツトシテ、無用ナ者
ハ、アリマセン。
彼ノ、動物園デ見タ、羚羊、綿羊、山羊モ、皆、洞角族ノ動物
デアリマス。

摘要 牛、羊、麒麟、駱駝、鹿ノ類ハ、一度嚥下シタ、芻草ヲ、口ニ

反レテ、齧直シマス。夫デ、之ヲ、反芻類ト申シマス。又、其蹄
ガ、ニッニ分カレテ居ルカラ、之ヲ、雙蹄類トモ申シマス。
中デモ、牛、羊ノ類ハ、空洞ノ角ヲ、持チテ居マスカラ、又、之
ヲ、洞角族トモ、申シマス。牛ハ、世界中デ、一番必要ナ動物

テ、其肉、皮、毛、角、蹄、骨等一ツトシテ、無用ナ物ハアリマセン。
羊ハ、我々ニ、温カナ、羅紗ノ原質ヲ與ヘマス。

第十二章。象(長鼻類)。

桐野君君ハ、陸棲獸中デ、最大ナ動物ヲ、知リテ居マスカ。
麒麟ハ、凡ソ、二丈モアル、樹杪ノ芽ヲ、喰フト云フコトデスカ。
ヲ、コレガ、最大ナ動物デアリマセウ。(カ)左様アレハ、最身長
ノ高イ動物デアリマス。然シ、最大ナ動物デハアリマセン。
武田君君ハ、知リテ居マスカ。ハイ、私ハ、先年、親ニ連レ
ラレテ、チャリ子ノ曲馬ヲ見、ニ行キマシタガ、其節(象ト云
フ目ノ小ヤイ、耳ノ大イ、鼻ノ長イ、獸第十二圖ガ居テ、童ヲ乗
セテ、歩行イテ居マシタ。私モ、實ハ、乘リテ見度ト、思ヒマシ
タガ、親ガ、危イト申シタカ、え、乘リマセレデシタ。其大サハ、

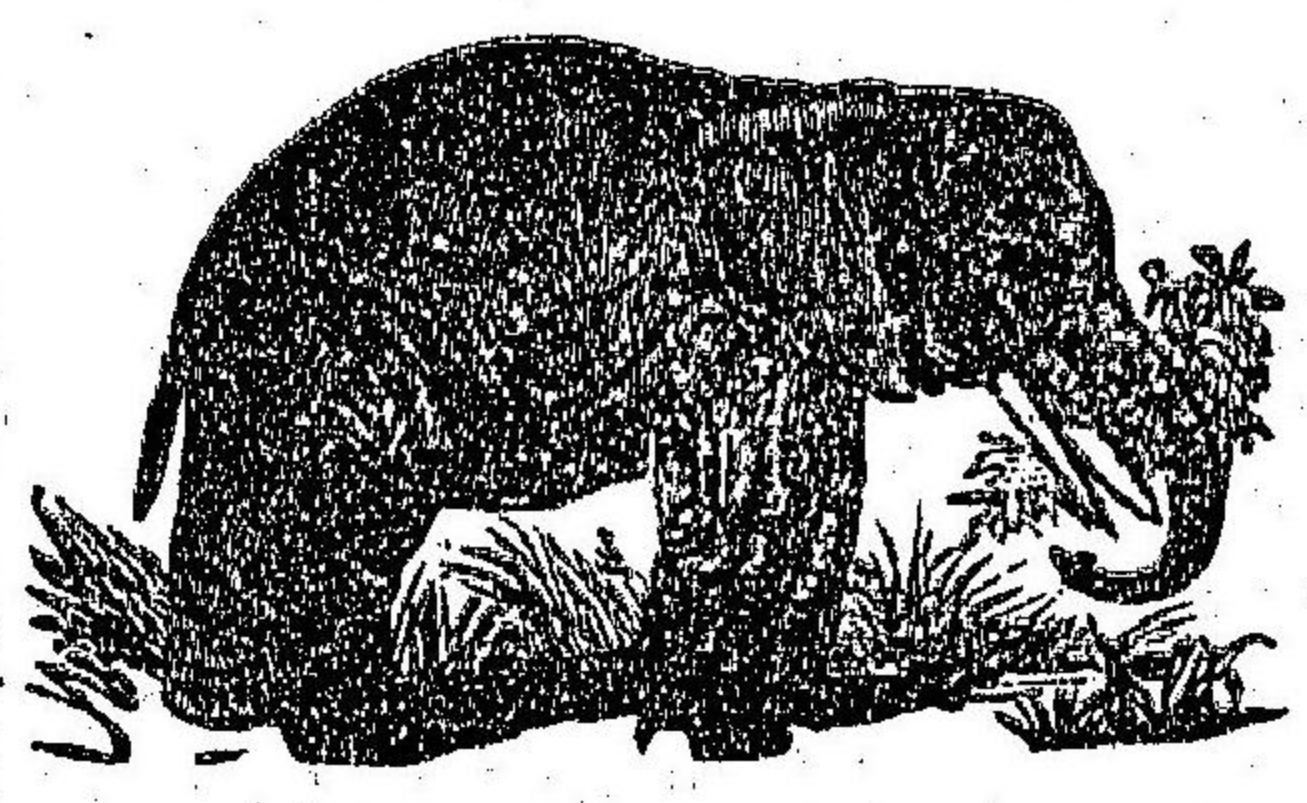
世界中最大
一番身長ノ
高イ動物ハ
何デアリマ
スカ。
象ノ目ヤ、
耳ト鼻ハ、
ウアリマ
スカ。

何ガ陸棲
獸中デ、一
番大イ動物
デアリマス
カ。

此象牙ハ、
カラ取ルモ
ノデスカ。

象ノ性質
ハ、ドウアリ
マスカ。

第二十圖



亞非利加ノ象
長ク一丈五尺余
目方千七百貫目

凡牛ノ五六倍モアラフト、思ハレマスカ。
ヲ、多分(大)象ガ一番大イ動物デアリマセ
ウ。其通(通)デス、象ハ、身ノ長ガ、九尺ヨリ、一
丈四五尺モアリ、體量ガ、千七百貫目ニ、上
ルモノモアリマス。彼人、長イ鼻ハ、五尺、乃
至、八尺モアリテ、恰我々ノ手ノ様ニ、自由
ニ働キマス。(水)其上、腮カラ、長サ、三四尺許
ノ、二本ノ、大牙ガ、生ヘテ居マスガ、世ニ、象
牙ト申シテ、色々ナ、美術細工ニ、用フルモノデス。即私ノ、
ツノ、此袖釦ダ夫デ出来テ居マス。(右)此大獸ニ付イテハ、其
智恵ノ多イコトヤ、温和デ、能人ニ馴ル、コトヤ、其他、一切
ノ事ガ、一ツトシテ、豫想外ニ、出ブヌコトハアリマセン。先刻

亞非利加産ノ象ハ、印度産ノ象ト、ドコガ違ヒマスカ。前額ガ、ドウマリマスカ。其ノ皮ハ、何ニナリマスカ。

武田君ハ云ハル、通見童サヘ乗セテ遊ハセル位ダカラ、其温良ナ性質ノアルコトハ、云ハナイデモ解カリマセウ。昔、印度邊デハ、狩ヤ、戦争ニモ、用ヒ、物品ヲ、運搬サスルニモ、用ヒタサウデス。先年、チャリ子ノ、連レテ來タ象ハ、多分、印度ノ象ト、思ハレマス。(三)亞非利加産ノ象ハ、耳ガ、今一層大クテ、前額ガ、今必シ、凸出シテ居マス。希臘人ヤ、羅馬人ハ、之ヲ、飼養シタト云フコトダガ、ニグロ人種ハ、之ヲ、飼養スル法ヲ、知ラナイサウデス。實ニ、惜イモノデハアリマセンカ。(四)象ノ皮ハ、厚クテ、丈夫デスカラ、種々ノ、皮細工ニ、用ヒマス。アノソレ、先日、蒸氣機械ヲ、見ニ行イタキ、私ガ、他ノ車ニ、運轉ヲ傳フル爲メ、帶ダト申シタモノハ、此象皮デ、作リタモノデアリマス。

海ニハ、何程大ナ動物ガアリマス。カ、(五)鯨ノ筋ハ、生ヘタモノデアリマス。

摘要

象ハ、陸棲獸中デ、一番大ナ動物デ、大ナ牙ト、長イ鼻トヲ持チテ居マス。夫デ、之ヲ、長鼻類ト申シマス。其皮ハ、大層厚イカラ、又、之ヲ、厚皮類ノ一トモ申シマス。

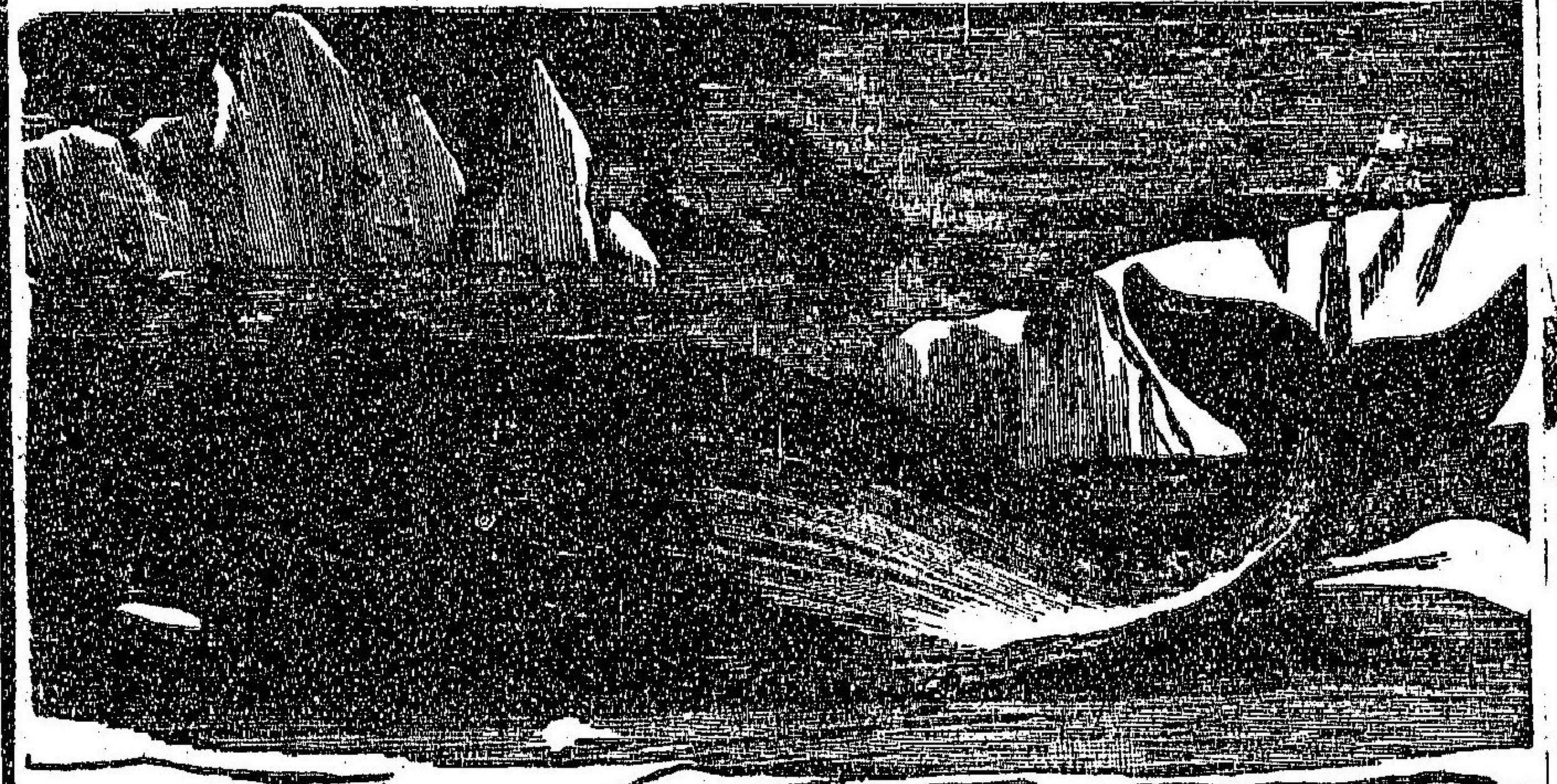
第十三章 鯨族(游水類)

諸君陸棲ノ動物デハ、象ガ一番大ナ、獸デアリマスガ、若シ、之ヲ、水棲ノ、大ナ獸類ニ比ブレバ、象位ハ、物ノ數デモアリマセン。(六)海ニハ、長サ、殆、十一丈モアリテ、體量ガ、六萬貫目以上、即、四十頭ノ大象ニ、均シイモノガアリマス。此獸ハ、鯨ト名クルモノデアリマス(第十三圖)。(七)彼ノ、提燈ノ、弓杯ニ、用ヒテアル、鯨ノ、筋トカ、鯨ノ、骨トカ、稱フルモノハ、其上、腮ニ、齒ノ代、ニ、生ヘテ、居ルモノデアリマス。石山君ハ、何カ、不思議サウナ、顔色ヲシテ、居ラレルガ、何カ、解カテヌトデモ、ア

第十三圖

鯨

長サ十一丈
 余モアリテ
 目方ハ六万
 貫目以上ア
 リマス。全身
 ニ鱗ガナク
 テ、ヒレニ鱗
 前肢ハドウ
 ナリテ居マ
 ス。血ハ温カ
 テ、兒ニハ乳
 ママセマ
 ス。哺乳類ニ
 水面ニ浮カ
 ンテ、空氣ヲ
 呼吸シマス
 氣接物。



リマス。私ハ鯨ハ水中
 ニ居ルカラ、魚ト思ヒマシ
 タニ、先生ハ之ヲ獸ト言ハ
 レタカラ、不審デアリマス。
 其不審ハ、尤モデアリマス。
 ①全體鯨ノ尻尾ハ、横ニ生
 ヘタ、尾鰭ノ様ニナリテ、前
 肢ハ、全胸鰭ト變ジテ、後肢
 ハ、其痕跡サヘモナイカラ、
 陸地デハ、寸分モ動クコト
 ガ出来マセン。然レ、游泳ハ
 却テ、魚ヨリモ上手ト云フ

②鯨ハ、何分
 時間毎ニ呼
 吸セネバナ
 リマセンカ。
 ③鯨ハ、魚デ
 ナクテ、獸類
 デアルト云
 フ証據ヲ舉
 ゲ給ヘ。

位デス。ソレデ、古來、久ク之ヲ、魚ト思フテ居マシタ。然ルニ、
 動物學者ガ、段々ト、精密ニ、之ヲ、検査シテ、遂ニハ、魚デハナ
 クテ、獸デアルト云フヲ、發見シマシタ。①先手近ナ話ガ、魚ニハ、
 鱗ガアリテ、鯨ニハ、鱗ガアリマセン。又、御存知ノ通、魚ハ、何
 時マデ、水底ニ居テモ、差支ハナイガ、②鯨ハ、八分時間、乃至
 十分時間毎ニ、水面ニ浮カシテ、呼吸セネバナリマセン。其
 呼吸スルキニ、水ヲ、鼻孔カラ、噴出シマス。之ヲ、俗ニ、鯨ノ潮
 吹ト申シマス。③若、鯨ニ、半時間餘モ、此空氣ノ、呼吸ヲサセ
 ズニ、水底ニ留メタナラバ、鯨ハ、遂ニ、溺死シマセウ。魚ナラ
 バ、溺死スルト云フ一ハ、ナイハツデス。其他、幼兒ニ、乳ヲ哺
 マスルコトヤ、肺臟デ、空氣ヲ、呼吸スルコトヤ、血ノ温カイ
 事杯ハ、總ベテ、獸類デアリテ、魚類デナイト云フ、証據デア

肥前遠大捕
レハ、鯨ハ、
何ト申シマ
ス。

鯨ハ、ナゼ
小ナ魚ヲ食
類トス食ヒ
マス。

鯨ハ、ドウ
シテ水中デ
モ、温カデ居
ルコトガ、出
来マス。

鯨ノ油ハ、
何ナリマ
スカ。

肉ハ、何ニナ
リマス。

リマス。尚後ニ、其精イ、御話ハ、致シマセウ。
鯨ニハ、鯨族ト、海豚族トハ、二種ガアリマス。(肥前ノ五島
ヤ、平戸デ、捕レルモノハ、セミクジラト申シテ、南海ニ産ス
ル、鯨族デアリマス。幼イ時ニハ、齒モアリマスガ、成長スル
ニ從テ、齒ハ、抜ケテ、所謂鯨鬚ヲ生ジマス。(咽喉ガ、狭イカ
ラ、極小ナ魚ヤ、蟲類ヨリ外ハ、食物トスルコトハ、出来マセ
ン。)(ヤ、其全身ニハ、脂肪ガ、満布シテ居ルカラ、水中デモ、寒エ
ズニ、其體温ヲ、保ツトガ出来マス。此脂肪カラハ、油ガ、二百
斛餘モ、取レマスカラ、漁者ハ、手桶デ、荷擔出ス位デス。(此
油ハ、燈油ニモナレバ、稻田ノ、驅蟲藥ニモナリマス。又、肉ハ、
隨分結構大味ヲ持チテ居マス。
(海豚族ノ鯨ハ、皆、齒ガアルカラ、多クノ魚類ヲ、捕食ヒマ

スカ。

ス。眞甲鯨モ、即、其一種デ、其下腮ニ、齒ガアリテ、其頭ガ、全身
ノ、三分ノ一ヲ占メテ居マス。長サハ、七丈五尺程ニ達シ、能
船杯ヲ覆スコトガアルカラ、實ニ、恐ルベキ海獸デアリマ
ス。

摘要

鯨ハ、世界デ、一番大ナ動物デアリマス。兒ヲ産ミ、之
ニ、乳ヲ哺マセ、肺臟デ呼吸シ、鱗ガナクテ、温カイ血ヲ持
チテ居ルカラ、獸類デアリマス。鯨ハ、常ニ、水中ニ、游泳ス
ルカラ、之ヲ游水類ト申シマス。

第十四章。猪族(厚皮類)。

先生、山鯨トカ申ス、獸ガアルト、云フイデスガ、ソレハ、鯨ハ、
未魚ノ様ニ、ナリ切ラナイデ、山ニ居ルモノデアリマス。カ。
岡野君ハ、イツモ奇妙ナ一ツヲ、尋ネラル、ネ。アレハ、野猪

動物篇上 三川處成

野猪 (厚皮類)



第十四圖

野猪ハ、ドウ云フ体裁ノ獸デアリマス。

第十四圖ノ異名デアリマス。昔人ガ、四足獸ヲ食フコトヲ嫌フタ時分ニ、アンナ異名ヲ附ケタコトデア、決シテ鯨ニ、緑ガアルノデハアリマセン。野猪ハ、鯨ノ緑者デハ、アリマセレガ、彼人家猪ノ親里デアリマス。

今、其形容ヲ申セバ、全體ハ、家猪ニ似テ、頭ガ太ク、身ハ黒褐色デ、兩脰カラ、二對ノ大牙ガ、口外ニ曲出シテ居マス。

然レ、是ハ、牝ニハアリマセン。又、其頸ガ太クテ、短イカラ、顧ミルコトハ、出来マセン。夫デ、頸ノ回ラヌ人ヲ、猪頸ト申シマス。

常ニ、山中ニ潜伏シテ、菓實、蔬菜ヲ荒ラシマス。其走ルキハ、真直ニ突進シマス、疵ヲ受クルキハ、勢力益、劇クアリマス。獵師ハ、之ヲ、手負猪ト申シテ、怖レマス。

家猪ハ、何ノ變種デアリマスカ。

家猪、即豚ハ、野猪カラ變生シタモノデ、少シ野猪ヨリモ小クアリマス。又、牙モ、野猪程、太クハアリマセン。

性、愚鈍デ、如何ナル腐敗物デモ、食ヒマス。

肉ハ、脂肪ガ澤山ニアリテ、味ハ、結構デスガ、寄生蟲ガアリマスカラ、充分ニ、烹テ食ハネバ、大變ナ、害ヲ受ケマス。

一分、妊ニ六足、乃至十二足ノ子ヲ産ミマスカラ、速ニ蕃殖シマス。

野猪ハ、家猪ノ外ニ、河馬ト云フ、奇妙ナ兄弟分ヲ、持チテ居

野猪ハ、家猪ノ外ニ、河馬ト云フ、奇妙ナ兄弟分ヲ、持チテ居

マスカ、
河馬ハ陸
デハドウア
リマスカ。
其口ニハ
ドンナ牙ガ
生ヘテ居マ
スカ。
厚皮類ト
ハナニヲ申
シマスカ。
犀角トハ
何カラ取レ
マスカ。

マス。亞弗利加ノ諸大河ニハ大抵此獸ガ住ンデ居マス。(ウ) 陸ヲ步行カスレバ實ニ此上モナク遲鈍デアリマスカ。水 中ニアル片ハ又驚ク程活潑デアリマス。(メ) 其口ニハ太緻 密ナ牙ガアリテ象牙ト同様ニ細工物ノ材料ニナリマス。(ミ) 此猪族ノ動物ハ皆厚クテ柔ナ皮ガアリマスカ。彼ノ 犀ト一緒ニ集メテ之ヲ厚皮類トモ申シマス。(シ) 彼ノ解熱 劑ニ用フル犀角ト云フ藥ハ此犀ノ鼻隆ニアル一本ノ角 デアリマス。

摘要

家猪ハ野猪ノ飼養サレテ變種シタモノデアリマ ス。
藥ニ用フル犀角ハ犀ノ鼻隆ニ生ジタ角デアリマス。
家猪、野猪、河馬、犀等ハ皆厚イ皮ヲ持チテ居マスカ。之

濠洲ニハ
ドウレタ動
物ガアリマ
スカ。

袋獸ハ何
ヲ食ス動物
デスカ。
其後肢ト
尾ハドウア
リマスカ。

又厚皮類ト申シマス。

第十五章。有袋族(腹囊類)又袋獸類。

志賀君ハ近頃濠洲カラ歸ラレタガ其話ヲ聞クニ濠洲ニ ハ素犬ト蝙蝠トヲ除クノ外ハ世界中ニ無類ナ獸計ガ棲 ムト云フテデス。(意) 同洲ニハ腹部ニ皮ガアリテ恰肚兜ノ 袋ノ様ナ形ニナリテ居ル動物ガアリマス。若兒ヲ産ムキ ハ此袋ニ入レテ乳ヲ哺マセマス。ソコデ其總名ヲ有袋類 ト名ケマス。此有袋類中ニハ啗肉類モアレバ食蟲類モア リ又穀食類モアリマス。(ウ) 先日動物園ニ居タ袋獸(第十五 圖)ハ即其穀食類ノ一種デアリマス。(メ) 彼ノ獸ハ後肢ガ 太ク長クテ其尾モ非常ニカガアルカラ敵ニ追ハルカ 困シメラル片ハ其後肢ト尾デ飛ンデ逃ゲマス。其最大

濠洲外ニハ有袋類ハアリマセンカ。

鴨嘴獸ノ軀幹ハドウアリマスカ。腮ハドウアリマスカ。

ドウウレタ所ニ居テ何ヲ食ヒマス

ナモノハ、六尺以上モアリマス。
(セ)濠洲外ノ地デハ、今知レテ居ル有袋類ハ、唯、一種ヨリ外
ハアリマセン。ソレハ、亞米利加ノ袋鼠(第十五圖乙)デアリ
マス。此小獸ハ、生物ヲ捕リテ、食ト致シマス。

有袋類

濠洲ノカウチハ、腹
部ニ囊ガアリテ、兒
ヲ入レマス。



鴨嘴獸(第十六圖)モ、濠洲ニ産スル、一種ノ奇
獸デアリマス。其軀幹ハ、一尺二寸計、全
體ニ、柔カナ毛ガ生ヘテ居マス。其腮ハ、長サ三
寸計、人區、イ嘴デ包マレ、恰鴨ノ嘴ヲ、繼足シ
タ様ニ見エ、其足モ、亦鴨ノ様ニ蹠ガアリマ
ス。此獸ガ、始メテ、歐洲ニ渡リタ時ニハ、皆、造
リ物ト、思フタ位デス。(ハ)常ニ、水邊ニ棲ンデ、

小蝦ヤ、小蟲類ヲ食ヒマス。

濠洲鴨嘴類

嘴ハ鴨ノ嘴ノ様デ、
足ニハ蹠ガアリマス。



第六十圖

摘要

濠洲産ノ袋獸ト、亞米
利加産ノ袋鼠ニハ、腹ニ、袋
狀ノ皮ガアリテ、兒ヲ、其中
テ育テマス。ソレデ、此等ノ
獸ヲ、有袋類ト申シマス。
濠洲ニハ、又、鴨ノ様ナ、嘴ト、
蹠ヲ持テ居ル、一種ノ奇

獸ガアリマス。之ヲ、鴨嘴獸ト申シマス。此獸ハ、鳥ノ様ニ
一孔ヨリ持テマセンカス。又、之ヲ、單孔類トモ申シマス。

第十七章。海豹族(鰭脚類)。

先日、海獸ノ話ヲ致掛ケタガ、岡野君ノ質問ガアリテ、中絶

海豹ノ頭ト毛色ハドウアリマス

ハ身ノ長サハ幾何デス

カ、其耳孔ト鼻孔トハドウアリマス

何處ニ住マスカ、其四肢ハドウアリマス

脂肪カラ取レル油ハ何ナリマス

カ、毛皮ハ

何ニナリマス

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

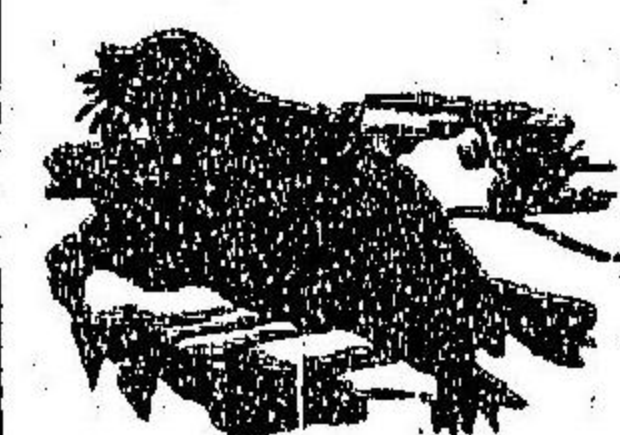
北海道ニ産シマス。

第十七圖



此牙ハ船ヲ覆ヘテガアリマス。

海馬



第十八圖

致シマシタ。夫デ、是カラ再、海獸ノ話ヲ致シマセウ。

海豹(第十七圖甲)ハ、其頭ガ、狗ノ様デ、毛色ハ灰色デ、黒イ斑點ガ、處々ニアリマス。(ハ)身ノ長ハ、普通、四五尺許、デスガ、最大ナモノハ、長サ三文重サ千貫目程ノモノモアリマス。(ニ)其耳孔ト、鼻孔トハ、随意ニ、開閉ガ出來ルカラ、水ニ入ルルハ、之ヲ閉ゲマス。(三)此獸ハ、殆、其生涯ヲ、海中デ送り、魚ヲ捕食ヒマスカラ、其四肢ハ、全タ、鰭ノ形ニナリテ居マス。ソコデ、之ヲ、脚鰭類ト申シマス。我

北海道ニハ、隨分、澤山ニ獵レマス。(ハ)其脂肪カラ、製シタ油ハ、種々ノ製造用ニナリ、其毛皮ハ、烟草囊ヤ、其他ノモノヲ、

何ニナリマス

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

カ、

製スルニ用ヒマス。(三)鰓胸獸ヤ、海驢モ、此海豹ノ一種デアリマス。

(チ)海象一名海馬(第十七圖乙)ハ、能、海豹ニ似タ、動物デアリ

テ、其大ナモノハ、長サ二丈、重サ二百五十貫目モアリマス。コレモ、北海ニ群住シテ、魚介ヤ、海藻ヲ食ヒマス。(リ)其上顎

カラ、長サ二尺計、ハ、二本ノ大牙ガ、口外ニ、突出シテ居マスガ、コノ牙デ、海岸ニ攀上リ、又ハ、氷ノ上、ヲ、匍匐シマス。ソレ

デ、陸地デハ、極々、遲鈍デアリマスガ、水中デハ、頗、活潑デアリマス。(ハ)若、此獸ガ、怒ルキハ、彼ノ大牙デ、小舟ヲ覆ス、トモ

アルカラ、餘程、用心セネバナリマセン。(三)此牙ハ、海象牙ト申シ、質ガ固クテ、重サハ、二十磅ニモ達シマスガ、百エハ、皆

之ヲ珍重シマス。中ニモ、義齒ヲ製スル杯ニハ、最妙デアリマ

ス。

摘要

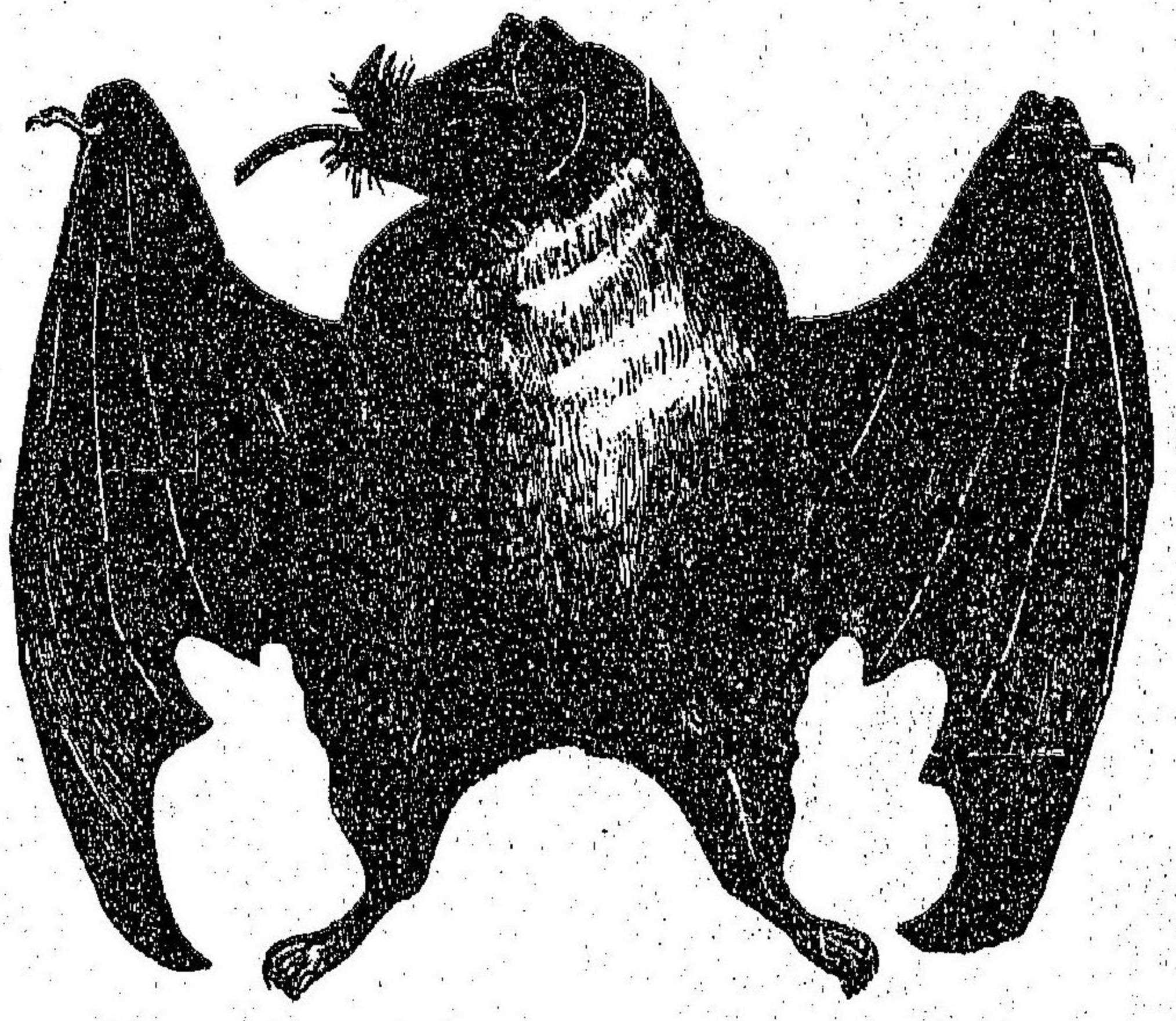
海豹、海驢、膾膾獸、海象ノ類ハ、皆北海ニ群居シマス。其脚ガ、鰭ノ形ニナリテ居ルカラ、之ヲ鰭脚類ト申シマス。游泳ハ、上手デアリマスガ、永ク、水底ニ居ルコトハ、出來マセン。夫デ、時々、海岸ニ上リマス。海象ノ牙ハ、細工ノ良材トナリマス。

第十八章。蝙蝠族(翅手類、又、翼手類)。

私ハ、今度、蝙蝠ト云フ、奇妙ナ、獸類ノ御話ヲ致シマセウ。法水君、何ノ御尋ネデスカ。先生、蝙蝠モ、獸類デアリマスカ。蝙蝠ニハ、翼ガアルデハアリマセンカ。成程、コレハ、蝙蝠ガ、能^レ翔ケルカラ、多分、獸デハナクテ、鳥デアラフト云フ考ヘテ、君ニ起コサセタノデアリマセウ。

第十八圖 (翅手類、又、翼手類)

蝙蝠



蝙蝠ニハ、羽モ骨モナクテ、毛ト耳ト齒ガアリマスカラ、獸類デアリマス。其翼、薄イ護膜、楯ノ膜ガ長クノビ、夕指ノ骨ヲ裏表カラ張りテモノデアリマス。夜陰獸デアルカラ、晝ハ暗處ニ眠リマス。

此誤ヲ証スル爲、ニ、私ガ、昨日、近所ノ岩穴デ、一足ノ蝙蝠ヲ、捕ヘテ置キマシタ。少シモ、疵ヲ附ケナイデ、此鳥籠ノ中ニ、入レテアリマス。今カラ、諸君ト、能ク之ヲ、検査シマセウ。
(先、此體(第十八圖)ヲ、御覽ナサイ。羽ハ、一本モナクテ、毛ガ生ヘテ居マス。其頭ニ、一對ノ

蝙蝠ハ、ド
ウアリマス
カ。

小里斗川 動物篇上

長イ耳ガアリマス。君モ、耳ノアル鳥ヲ、見タコトハアリマ
スマイ。今一層精密ニ検査スル爲ニ、私ガ其籠カラ出レマ
セウ。然レ、此^(カ)トシヤット^(カ)デ挾^(カ)シ、能^(カ)注意シテ、之ニ、疵ヲ負ハセ
ヌ様ニ、セネバナナリマセン。先生、其器械ヲ用フルヨリモ、
手デ、御出シナサレタ方ガ、大丈夫デセウ。イヤ、蝙蝠ニハ、
鋭イ齒ガアルカラ、若^(カ)之ヲ、用ヒナケレバ、私ノ手ヲ、噬ムカ
モシレマセン。君ハ、齒ノアル鳥ヲ、聞イタコトガ、アリマス
カ。^(カ)此通、蝙蝠ニハ、羽モ、嘴モナクテ、長イ耳ト、鋭イ齒ト、毛
ガアルカラ、ドウシテモ、鳥ト云フコトハ出来マセン。^(カ)早ク
言ヘバ、蝙蝠ハ、尾ノナイ鼠ニ、翅ノ生ヘタ様ナモノデス。
コレカラ、其兩翼ヲ、吟味シマセウ。私ガ、箇様ニ、其翼ヲ、張廣
ガマレタ。御覽ナサイ。大變、鳥ノ翼トハ、違フテ居マセウ。^(カ)

何故蝙蝠ハ、羽モ、嘴モナクテ、長イ耳ト、鋭イ齒ト、毛ガアルカラ、ドウシテモ、鳥ト云フコトハ出来マセン。^(カ)早ク言ヘバ、蝙蝠ハ、尾ノナイ鼠ニ、翅ノ生ヘタ様ナモノデス。コレカラ、其兩翼ヲ、吟味シマセウ。私ガ、箇様ニ、其翼ヲ、張廣ガマレタ。御覽ナサイ。大變、鳥ノ翼トハ、違フテ居マセウ。^(カ)

其翼ハ、何ニ似テ居マスカ。

此翼ニハ、一本ノ羽モ、アリマセン。^(カ)唯、骨ノ上ヘ、裏表カラ、
薄イ、護膜ノ様ナ、膜デ張リタ蝙蝠傘ノ様デス。^(カ)サウシテ、
其骨ハ、大變、長ク伸ビタ。指ノ骨デ、其膜ノ中ニ、腕モ、脚モ、包
マレテ居マス。實ニ、奇妙ナ、翼デハ、アリマセンカ。
サテ、是カラ、蝙蝠ヲ放シテ、ソレガ、ドウ云フ鹽梅ニ、此奇翼
ヲ使フカラ、見マセウ。アレ、御覽ナサイ。其飛方ハ、遲鈍デ、不
規則デ、恰、其方向サヘモ、知ラナイ様ニ、見エマス。君ハ、其理
ヲ、説明スルコトガ、出来マスカ。コレハ、今、太陽ノ光線ガ、明
カデアアルカラデス。^(カ)左様、蝙蝠ハ、常ニ、日光ヲ避ケテ、黃
昏デナケレバ、其巢窟カラ、出掛ケヌカラ、之ヲ、夜陰獸ト、申
シマス。ソレデ、今ハ、日光ノ爲ニ、眼ガ、眩シダノデ、アリマス。
アレ、蝙蝠ハ、遂ニ、開ケテアル窓ニ、這入りマシタ。最早、多

蝙蝠ハ、何故夜陰獸ト申シマスカ。

暗イ所デ
ハドウシテ
居マスカ。
何ヲ取食
ヒマスカ。

冬ノ間ハ
ドウシテ居
マスカ。

分、暗イ處ニ、隠レタデ、アリマセウ。暗イ處ニ、行ケバ、蝙蝠ハ、其翼ヲ縮メテ、其前肢ノ鉤爪デ、倒ニ懸カリテ、終日眠リマス。斯クテ、晚景ニナルト、再眠ヲ覺マシ、縱横ニ、翩翩リテ、昆虫ヲ捕食ヒマス。シテ見レバ、此憫レテ動物ハ、植木屋ヤ、農家ノ益友ト云フテ、宜イ位デス。琉球ノ八重山ヤ、小笠原嶋ニ居ルモノハ、大サ、八九寸モアリマス。

蝙蝠ハ、寒ヲ怖ル、獸デスカラ、冬ノ間ハ、物モ食ハズニ、其巢窟ニ、蟄伏シテ居マス。

摘要

蝙蝠ハ、薄イ、護膜ノ様ナ膜デ、上肢ノ指ト、下肢ノ間ヲ張廻シタ、翅ヲ持チテ居マス。夫テ、之ヲ、翅手類ト申シマス。晝ハ、蟄伏シテ、夜間ハ、翱翔ルカラ、又、之ヲ、夜陰獸トモ、申シマス。昆虫類ヲ食フテ、作物ノ害ヲ、除キマス。

第十九章。人類(二手類)。

廣田君、是迄、私ハ、何ノ御話ヲ、諸君ニ、致シマシタカ。ハイ、先生ノ、御話、ナサレタ、動物ニハ、皆、骨ガアリマスカラ、有骨動物ノ、御話、ト思ヒマス。左様、實ニ、有骨動物ノ、話ヲ、致シマレタ。ダガ、其中デモ、是迄、私ガ、御話、致シタモノハ、皆、(り)兒ヲ産ンデ、之ニ乳ヲ哺マセマス。ソレデ、之ヲ、哺乳類、又ハ、胎生類ト申シマス。彼ノ鯨ヲ、魚ニ加ヘナイデ、獸、即、哺乳類トスル、一ノ理由モ、實ハ、兒ヲ産ンデ、乳ヲ哺マスルカラデアリマス。

人類ハ、何
動物ノ一デ

哺乳類ハ、
ドウシテ、動
物デスカ。

然レ、私ハ、尚、一最重要ナ、哺乳動物ノ事ヲ、御話致シマセナシタ。諸君ノ中ニ、誰カ、之ヲ、知リテ居ル人ハ、アリマセシカ。皆、之ヲ、知ラナイト云ヒマスカ。(り)諸君ハ、皆、即、其動物ノ一

スル。人ハ何故、哺乳類デアリマス。

①人ノ体器ハドウアリマス。

②足ハドウアリマス。

③手ハドウアリマス。

デアリマス。先生、眞實ニ、サウデアリマスカ。嗚呼、村上君、君ハ、大層、不平ナ顔色デスネ、ア、成程、君ヲ動物ノ一ト云フタカラデスカ。然レ、我々ハ、皆、乳ヲ哺乳ンデ、育チタモノデハ、アリマセシカ。夫デ、君ハ、假令、不平デアリテモ、我々ハ、此類ニ屬スル、一ノ動物デアリマス。

勿論、人ハ、他ノ動物ヨリモ、道德ヤ、才智ガ、大變、勝レテ居ルカラ、此哺乳類ト云フ、總名ハ、大變ナ榮譽ヲ受ケテ居マス。然レ、諸君、試ニ、暫、我々ノ智徳ヲ別ニシテ、其體丈ヲ考ヘテ、御覽ナサイ。④其體略ハ、實ニ、能、猿ニ似テ、居ルデアリマセンカ。⑤ケレバ、我々ノ足ハ、丈夫ダカラ、永久、直立正行スルコトガ、出来マス。⑥又、我々ノ手ハ、拇指ノ附方が、ヨイカラ、物ヲ、強クモ、握リ、柔クモ、持ツコトガ、出来マス。

第十圖 (種人五)

<p>種人加利米亞</p> 	<p>皮膚、黄色ヲ帶ヒ、眼ト髪ト、黒クアリマス。</p>	<p>種人巴羅歐</p> 
<p>色ハ銅色デ、軀幹ハ強健デアリマス。</p>	<p>種人亞細亞</p> 	<p>皮膚ハ白、眼ハ碧デ、髮、黄色ヲ帶ヒ、軀幹ハ強健デアリマス。</p>
<p>種人エレマ</p> 	<p>色ハ黒ク、身長ハ低クアリマス。</p>	<p>種人加利弗亞</p> 

小里斗川草 第一 動物篇上 三三 二和成痛持

亞細亞人
ハドウ、アリ
マスカ。
我々ハ、何人
種デスカ。
歐羅巴人
種ハドウ、ア
リマスカ。
亞非利加
人種ハドウ、
アリマスカ。
亞米利加
人ハ、ドウ、ア
リマスカ。
何人種ガ
一番、勝レテ
居マスカ。
我々日本
人民ハ、ドウ、
アリマスカ。

地球ニアル人類ハ、皆同一種デハ、アリマセン。(一)亞細亞人種(第十九圖甲)ハ、皮膚ガ、少シ、黄色ヲ帯ビテ、髪モ、眼モ、黒クアリマス。我々モ、即チ此人種デアリマス。(乙)歐羅巴ノ人種(第十九圖乙)ハ、大概、色が白クテ、鼻ガ隆クテ、眼ガ綠色デアリマス。(丙)亞非利加人種(第十九圖丙)ハ、色が黒クテ、髪ガ縮ンテ、腮ガ差出テ、鼻ガ、横ニ、廣ガリテ居マス。此人種ハ、前ノ黄白人、二人種ニ比スレバ、餘程、智惠ガ劣リマス。(丁)又、亞米利加ニハ、銅色ノ人種(第十九圖丁)ガアリマス。其骨骸ハ、黄色人種ニ、比ブレバ、少シ、丈夫デアリマス。(五)此四種ノ中デ、歐羅巴人種ガ、一番、智惠モ多ク、耐忍カモアリ、體モ丈夫デ、亞細亞人ガ、其次デアリマス。然シ、我々モ、勉強次第デハ、彼ハ、白哲人種ニ、勝テナイト云フ、道理ハ、アリマセン。(六)ソレデ、

セネバナリ
マセンカ。
濠洲ニハ、
ドウ、レタ人
種ガ、アリマ
スカ。
世界中、重
モノ人種ハ、
何種デアリ
マスカ。

我々日本人民ハ、皆、心ヲ揃ヘテ、知カヲ磨キ、身體ヲ丈夫ニシテ、世界第一等ノ人種ニナラネバナリマセン。(七)此外ニ、濠洲ニハ、身長ノ低イ、色ノ黒イ、頭ノ小サナ、人種ガアリマス。之ヲ、マレエ人種(第十九圖戊)ト申シマス。此人種ハ、耕作ノ法モ知ラネバ、犬ノ外ニハ、家畜ヲ飼馴ラス法モ、知リマセンカラ、其智惠ノ、少ナイトハ、推シテ知レマセウ。又、世界ノ、或部分ニハ、火ヲ燧ル道モ知ラナイ、人種ガアリマス。然シ、此等ノ人種ハ、人口ガ少ナイカラ、(八)先、重ナ人種ハ、五種ト申シマス。

摘要

人類ハ、二本ノ脚デ、直立正行シ、二本ノ手デ、種々、靈妙ナ事ヲ致シマス。ソレデ、之ヲ、二手類ト申シマス。其身體ノ構造ハ、猿ニ、能シ、似テ居マスガ、言語デ、意思ヲ通ジ、物

事ヲ考ヘル智慧ハ、他ノ動物ニ勝レテ居ルカラ、又之ヲ萬物ノ靈トモ申シマス。

上ハ、人類カラ、下_モハ、鴨嘴獸ニ至ルマデ、皆、脊骨ガアリテ、肺臟デ、呼吸シマス。其兒ハ、胎生デ、母ノ乳ヲ哺ンデ、成長シマス。ソレデ、之ヲ、哺乳類ト、總稱シマス。

第二。鳥類。

第二十章。鳥類。

我々ハ、是迄、充分、四足獸ノ事ヲ、研究シタカラ、是ヨリ、一層、愉快ナ動物ヲ、吟味シマセウ。

私ガ、諸君ニ、是カラ、御話致サウト思フ、動物ノ首ト、手が、茲ニ、アリマスガ、津田君ハ、ソノ名ヲ知リテ、居マスカ。ソレハ、鳥ノ首ト、翼デアリマス。左様、コレハ、私ガ、今朝、出掛ケニ、

鳥屋デ、賞フテ來タ、モノデアリマス。先、此口ヲ、御覽ナサイ。

あ、鳥ノ頸ハ、ドウナリテ居マスカ。何ト、名ケマスカ。さ、羽ハ、ドウナリテ居マスカ。さ、鳥ノ羽ハ、ドウナリテ居マスカ。ゆ、羽ノ部分ト、其全体ノ名ハ、何ト申シマスカ。

め、翼ハ、何ノ用ヲナシマスカ。

あ、齒ハ、一本モ、アリマセンデ、上下兩顎ガ、長ク突出シテ、角質ノ甲ヲ、被ブリテ居マス之ヲ、嘴ト申シマス。又、此翼ノ羽ヲ、御覽ナサイ。さ、一本毎ニ、莖ガアリテ、其莖カラ、兩傍ニ、枝ガ生ヘ、其枝ニ、又、小ナ枝ガ、一面ニ生ヘ、其小枝ト、小枝ガ、互ニ、相織リテ、木ノ葉ノ様ナ、面ヲ顯ハシマス。さ、鳥ノ羽ニハ、彼ノ、小枝カラ、又、第二ノ小枝ガ、生ヘテ居マス。ゆ、學問上デハ、彼ノ莖ヲ、翹ト申シ、此羽ノ面ヲ、翹ト申シ、其總稱ヲ、翼ト申シマス。

岡松君、此翼ニハ、何等ノ効用ガアルカ、知リテ、居マスカ。空中ヲ、翩翩ハルノ、用ヲナシマス。め、左様、多クハ、其通、デ、スガ、中ニハ、駝鳥ノ翼ノ様ニ、唯、駝ケルカラ、助ケルモノモ

（み）鳥ハ何カ
エ生マレマ
スカ。

（し）卵白ト卵
黄トノ外ニ
ハ何モアリ
マセンカ。
（急）其名ハ何
ト名ケマスカ。

アレバ、ペンギン、インノ翼ノ様ニ、水中ヲ潛泳スル、鰭ノ代用
ニ、ナルモノモ、アリマス。

村松君、鳥ハ、何カラ、生マレマスカ。私ノ知リテ居ル鳥ハ、
皆、卵カラ、生マレマス。 （み）左様、鳥ハ、皆、巢ヲツクリ、卵ヲ生

ンデ、之ヲ、孵化シマス。御覽ナサイ、茲ニ、ニッノ鶏卵ガアリマ
ス。其一ツハ、生卵デ、他ノ一ツハ、烹卵デアリマス、私ガ、其生卵ヲ

破リマス。ソレ卵ノ身ガ、血ニ流出マシタ。一柳君、卵ハ、何
ヤノ部分カラ、出来テ居マスカ。硬イ卵殻ト、卵白ト、卵黄

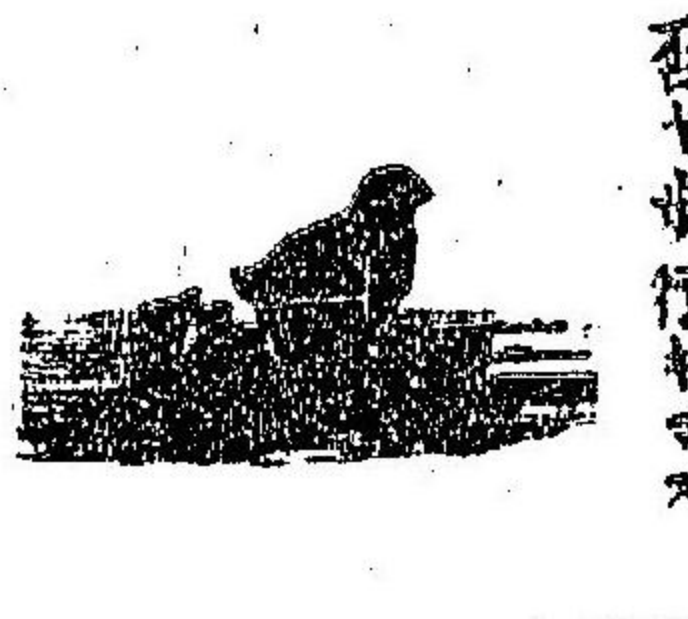
トデ、出来テ居マス。 其外ニハ、何モ、違フタモノハ、アリマ
センカ。 （し）成程、能見マスト、其卵黄中ニ、一ツノ、小ナナ、白イ點

ガ、アリマス。 （急）左様、學問上デ、之ヲ、胎點ト申シマス。若ク、之
ヲ、破ラズニ、母鶏ニ、温メサセタナラバ、此白點ハ、遂ニ、一ノ

（ひ）卵ハ、圓イ
方ノ端ハ、ド
ウナリテ居
マスカ。
（急）茲ニ、何が
這入りテ、居
マスカ。
（急）卵ノ上ニ、
護護ヲ塗レ
バ、ドウナリ
マスカ。
（急）卵ノ孵化
スル順序ハ、
ドウデアリ
マスカ。

雛ト、成ルコトモ、出来タデセウ。私ガ、今度ハ、此方ノ烹卵ノ
殻ヲ、箇様ニ、注意レテ、剥キマス。 （ひ）然ルニ、卵ノ圓イ方ノ端
ガ、少シ、缺ケテ、身ト、殻トノ間ニ、空處ガ、出来テ居マス。 （も）コ
レハ、小鳥ガ、孵化シタキニ、呼吸スル、空氣ハ、這入りテ居ル
所デス。 （せ）夫デ、假令、小鳥ガ、孵化シテモ、卵殻ノ上、カエ、護護
ヲ塗リタナラバ、直ニ中ノ雛ハ、窒息シテ、死ニマセウ。今、小
刀デ、此卵ヲ、真ニ、割リマス。ソレ、諸君ハ、卵黄ト、卵白トノ
位置ヲ、明瞭ニ、見ルコトガ、出来マセウ。

第十二圖



（急）雛ハ、孵化スルセ、
否ヤ、歩行キマス。

（急）若、卵ヲ、一定ノ溫度デ、暖ムレバ、此胎點ハ、遂
ニ、其卵殻中デ、小ナナ小鳥ト化シ、卵黄ト、卵白ヲ
食ヒ、空氣ヲ呼吸レテ、成長シマス。サウシテ、其
體ガ、殻中ニ、居キレヌ程ニ成長スレバ、其嘴デ、

小理科川集 第一 動物篇上 三三二 二手反痛

殼ヲ衝破リテ、此世界ニ出現シマス。之ヲ孵化スルト申シマス。鳥ノ中ニハ、孵化スルヤ、否ヤ、雛(第二十圖)ノヤウニ、直ニ、餌ヲ啄ミ、又ハ、飛廻ルモノモアレバ、鴨ノ様ニ、水ヲ游泳グモノサヘアリマス。又、中ニハ、鳩ノ様ニ、盲目テ、殆、運動スルコト人出来ヌモノモアリマス。

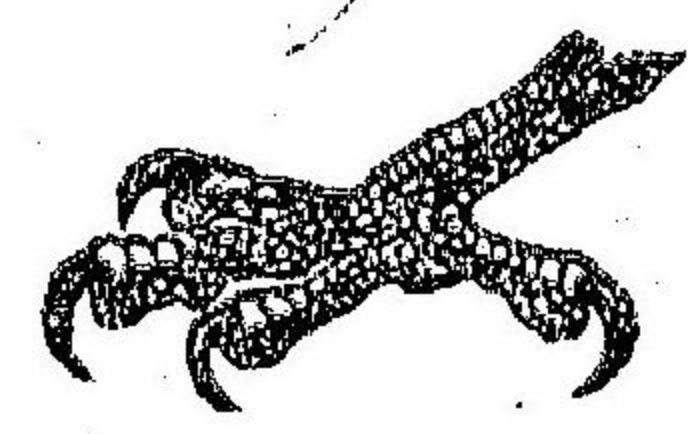
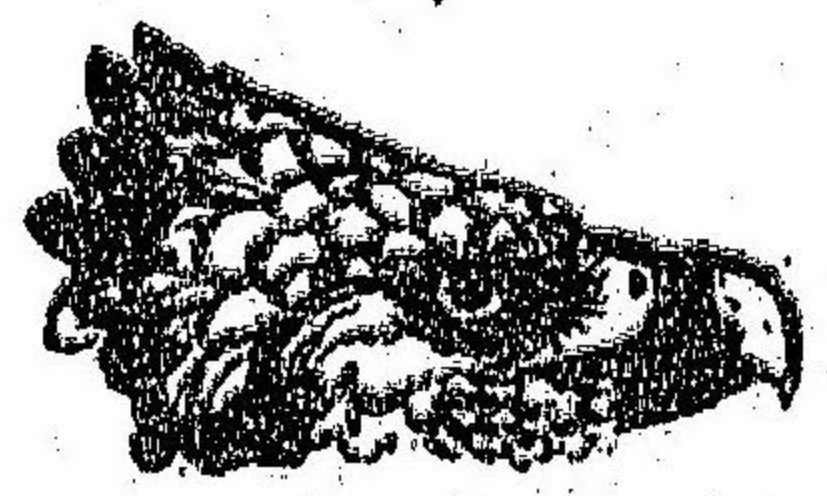
(イ)自然ノ法
アハ、何ガ卵
又、孵化サセ
マスカ。
(ロ)母鳥ヨリ
外ニハ、卵ヲ
孵化サセル
モノハ、アリ
マセンカ。
(ハ)燕ハ、何時
頃、我國ニ來
マスカ。

(イ)自然ノ順序ヲ云ヘバ、先、巢ヲ作ルコトカテ、卵ヲ産ミ、之ヲ暖メテ、孵化サセルコトマテ、皆、母鳥ノ受持デアリマス。
(ロ)然レ、今日デハ、孵卵器ト云フ器械、蒸氣ノ熱ヲ通ジテ、卵ヲ、孵化サセルコトガ、出来マス。
コノ愛スベキ、鳥ニ就イテ、今、私ガ、諸君ニ、御話致サウト、思フ、七八、鳥ニハ、年々、時ヲ期シテ、長旅スルモノガアリマス。
(ハ)彼ノ燕杯ハ、夏期ニハ、我國ニ來テ、卵ヲ生ミ、雛ヲ育テ

(イ)雁、鳩ハ
何時去リマ
スカ。

猛鳥中、天鳥
猛ナ鳥、又、何
ト申レマス
カ。
(ロ)此鳥ハ、ド
ンナ、爪ヤ、嘴
ヲ持チテ居
マスカ。

第二十一圖



マスガ、冬ガ近寄リテ、昆蟲類ガ、減少スルトキハ、此所ヲ去リテ、印度ヤ、亞弗利加ノ様ナ、暖カイ地方ニ歸リマス。(イ)又、之ニ反レテ、雁ヤ、鳩ノ様ニ、寒ヲ好ンテ、春時ヨリ北ニ移ルモノモアリマス。

第二十一章 鷲鳥類(猛鳥類)

鷲ノ中ニ、人畜ヲ取食フ、獅子ヤ、虎ノアル様ニ、鳥ノ中ニモ、小鳥ヤ、小獸ヤ、爬蟲類ヲ捕食ス、猛鳥ガアリマス。(ロ)此等ノ猛鳥ヲ、鷲鳥類ト名ケマス。(イ)此種類ニハ、其餌食ヲ捕フルニ、屈強大、數種ノ、武器ガアリマス。先、此曲ガリ、嘴ヲ御覽ナサイ、(第二十一圖甲)ナント、鋭ク、尖リテ居ルデハ、アリマセンカ。又、此大

(鷹鳥類中、二種ノ區別、又皆ケ給ヘ)

(鷹ハ、ドクナ肉デ、ナケレバ、食ヒマセンカ)

大長イ爪ヲ御覽ナサイ(第二十一圖)。實ニ、鋭ク、尖リテ居マス。其翼ハ丈夫デ、長クアリマスカラ、其翔ルコトハ、速ク、永ク、疲レマセン。嘗テ、肥後ノ九島山デ、外飛タ鷹ガ其日ノ中ニ、羽後デ、捕ヘラレタコトモ、アリタサウデス。
(鷹)鷹鳥ノ内ニモ、白晝ニ、其餌食ヲ、涉獵ルモノト、夜中ニ、之ヲ、狩ルモノトアリマス。前ノモノヲ、啗肉晝禽ト申レ、後ノモノヲ、啗肉夜禽ト名ケマス。

第二十二章 鷹族(啗肉晝禽)

(鷹)第二十二圖ハ、飛揚スル鳥類中デ、一番大ナ鳥デアリマス。中ニハ、其大サ、兩翼ヲ張レバ、一丈二尺モ、アルモノガアリマス。(鷹)性最勇猛デ、己ノ殺シタ、肉デナケレバ、決シテ、食ヒマセン。ソレデ、其餌食ヲ捕ル爲、ニ、其翼ヤ、嘴ヤ、爪モ、餘程

第二十二圖



健強デアリマス。鷹ハ、鷲ヨリモ、餘程、小ナ鳥デアリマスガ、其形ノ割ニ、比スレバ、鷲ヨリモ一層、勇猛デアリマス。ソコデ、舊幕ノ比ハ、諸大名ガ、之ヲ、飼養シテ、鷹狩リニ、用ヒタコトデアリマス。(リ)其

(鷹)羽ハ何ニナリマスカ。

(鷹)鷹ハ何ヲ食ヒ、何等ノ羽ガ、アリマスカ。

羽ハ、弓ノ箭杯ヲ作ルニ、最上ノ品デアリマス。

鷹ハ、前ノ諸鳥ニ、比スレバ、頗ル、憶病ナ鳥デアリマス。(鷹)蛇ヤ、魚類ヤ、腐肉等ヲ、食ヒマスカラ、餘程、我々ノ衛生上ニ、効ガアリマス。此族ハ、皆、啗肉晝禽デアリマス。

第二十三章 鷓鴣族(啗肉夜禽)

⑤鵓鳥ハ、
ン大羽ヲ持
チテ居マス
九

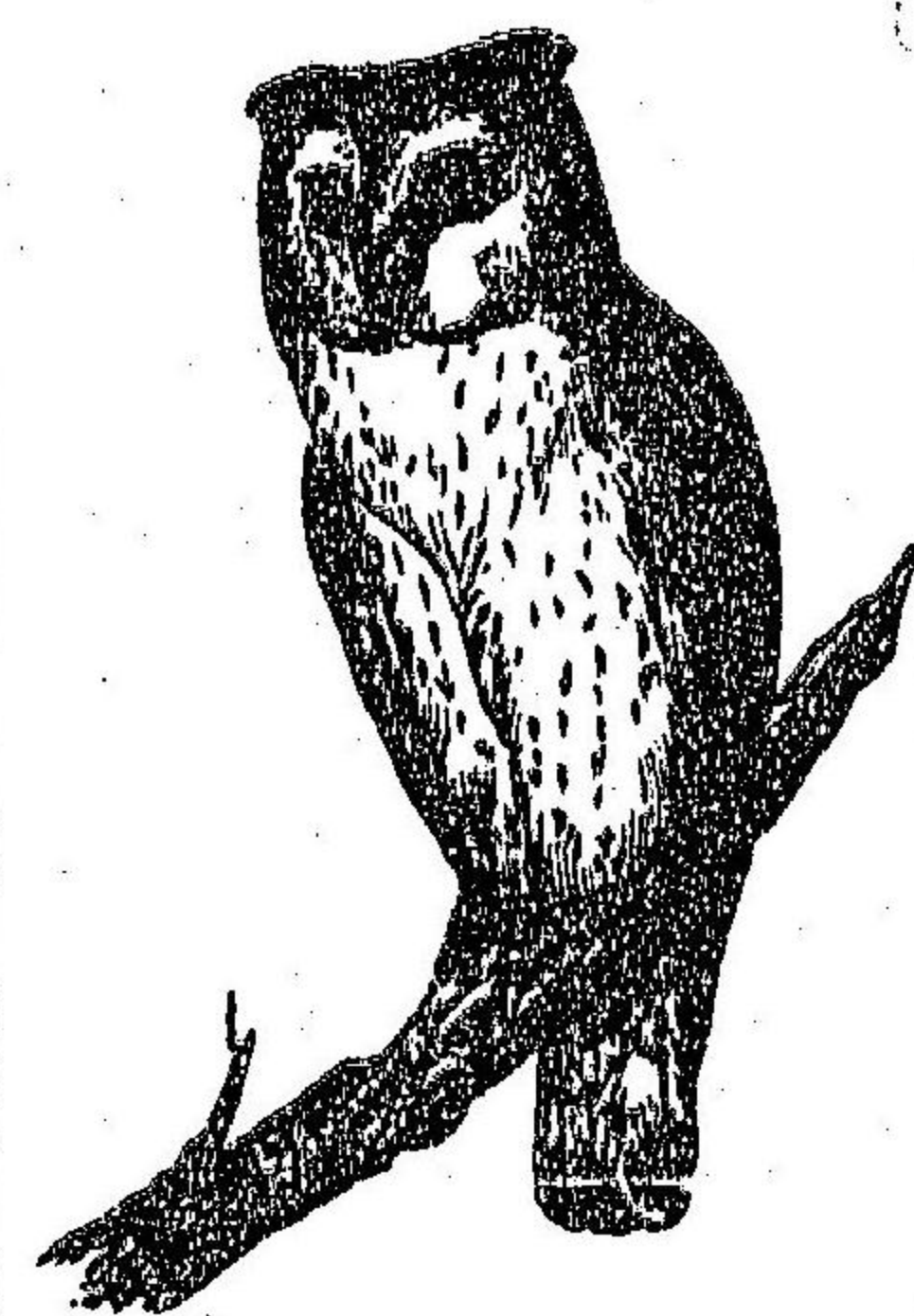
⑥其耳ト眼
ハドウアリ
マスカ。

⑦其耳ト眼
ハドウアリ
マスカ。

第二十三圖

角鴞

眼ハ圓大テ
前ニ向フテ
居ルカテ、
ニ似テ居マ
ス。晝ハ見エ
ナイガ、夜ハ
却テ能見エ
マス。



ラ、猫ニ、似テ居マス。晝ハ、物ヲ見ルコトモ、出來マセンガ、夜
ハ、能見エマス。⑧其耳ノ側ニ、長イ羽ハ、アルモノヲ、角鴞(第
二十三圖)ト申シマス。是等ノ動物ハ、鼠ヤ、鼯鼠、其他、田圃ニ
有害ナ、小動物ヲ、捕リマスカラ、穀類ノ、巡查ト云フテモ、宜
イ位テス。

第二十四章。鸚鵡類。

第二十四圖



鸚鵡

舌ノ肉ハ、厚クテ、人ノ舌ニ似テ居マ
スカラ、能人ノ口真似テ致シマス。

諸君ハ、彼ノ、動物園
デ見タ、人ノ、口真似
ヲスル鳥ヲ、覺エテ
居マスカ。元田君、ア
ノ鳥ノ、附札ハ、何ト、
書イテアリマシタ

⑨鸚鵡ノ舌
ハドウアリ
マスカ。

カ。鸚鵡(第二十四圖)ト、覺エテ居マス。杉田君、其嘴ヤ、舌

ハ、ドウアリマシタカ。其嘴ハ、短クレテ、鈍ク、(其舌ハ、肉
ガ厚クテ、恰人ノ舌ニ似テ居マシタ。左様、人ノ舌ニ似テ
居ルカラ、人ノ口真似モ、出來ルノデアリマス。岩崎君、其
足ハ、ドウアリマシタカ。足ニハ、四本ノ趾ガアリテ、二趾
ハ、前ニ向ヒ、他ノ二趾ハ、後ニ向テ、居マスカラ、止、木ヲ攫ム

ニ、便利デス。左様諸君ノ答ノ通、デアリマス。此鳥ハ、頗ル
 才智ガアルカラ、之ヲ鳥中ノ猴トモ申レマス。猴ト同ク、熱
 帶地方ノ産デ、アリマスガ、森ヤ、林ニ、群棲シテ、喋々ト、饒舌
 リテ、居マス。

第二十五章。 鴿類。

第二十五圖



鴿類ハ、其大サ一尺程デ、紫灰色ニ、綠色
 ノ光ヲ帯ビテ居ル、奇麗ナ鳥デアリマ
 ス。鳩(第二十五圖)ト、家鴿トハ、二種アリ
 マス。(上)性最馴レ易ク、アリマスカラ、能
 飼養シテ、信書ヲ、遠方ニ送ルコトガ出来
 マス。ソレデ、我國デモ、近頃之ヲ、軍用ニ
 使フコトヲ、研究シテ、居マス。

正鴿ノ性質
 又書ヲ給ヘ。

第二十六章。 雌鷄類(搔撥類)。

此種類ノ鳥ニ、雌鷄類ノ名ヲ、附ケタノハ、此種類中ノ鳥ハ、
 多少其形ガ、雌鷄ニ、似テ居ルカラデ、アリマス。ソレデ、其最
 良イ標本ハ、雌鷄デ、アリマス。諸君ハ、彼ノ庭ニ、遊ンデ、居ル
 雌鷄ヲ御覽ナサイ。(左)其頭ニハ、赤イ肉冠ガアリマス。嘴ハ、
 短クテ強ク、其足ニハ、四趾アリテ、三趾ハ、前ニ向ヒ、一趾ハ、
 後ニ向フテ居マス。(右)其雄ハ、時ヲ定メテ鳴キ、又、距デ、能
 ヒマス。(左)アレ今頻ニ、芥溜ヲ搔撥シ

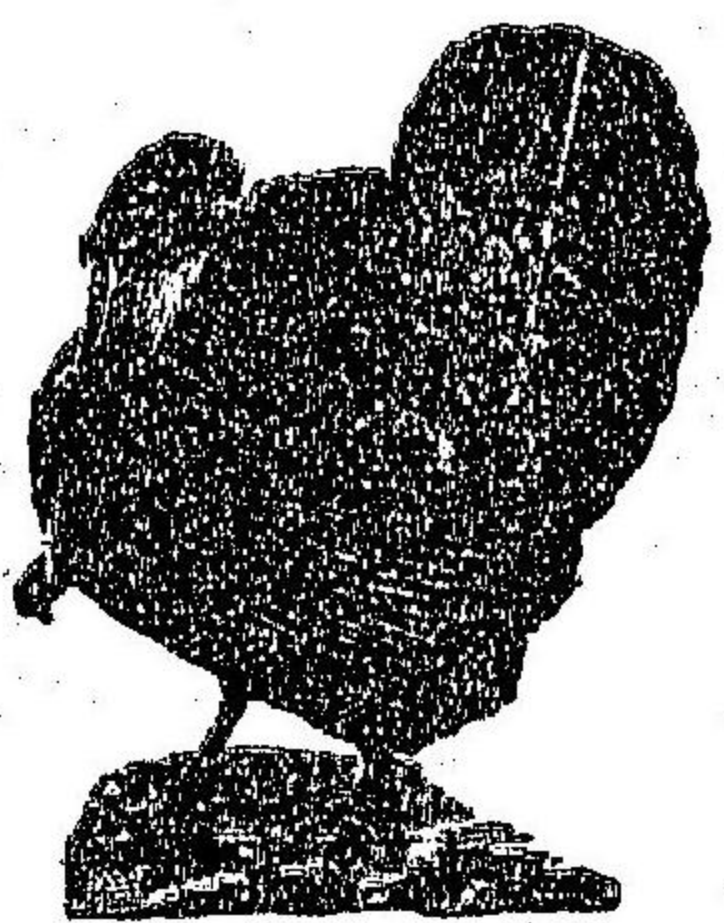
雌鷄ノ形
 フ、皆ゲ給ヘ。

其雄ハ、
 フ、皆ゲ給ヘ。

何故搔撥
 類ト申レマ

雌鷄類中ノ
 鳥名ヲ、皆ゲ
 給ヘ。

第二十六圖



雌鷄

テ居マス。是ハ、其食物タル、穀物ヤ、蟲
 類ヲ搜索スルノデアリマス。夫デ、一
 名之ヲ、搔撥類トモ申シマス。彼ノ深
 山ニ居ル、松鷄ヤ、鷄ヤ、雉ヤ、山鷄ヤ、孔

雀、吐、鵞、鷄(第二十六圖)モ、皆此種類ニ、屬スルモノデアリ
マス。

第二十六章。涉禽類(涉水類)。

何故涉禽類ト申シマスカ。

頭ト、嘴ハ、ドウアリマスカ。何ヲ食ヒマスカ。

第七十二圖



此種類ノ鳥ハ、大抵、沼ノ多クアル地方ニ居テ、其長イ脚
デ、沼ヤ、池ヲ徒涉
スルカラ、コノ名
ヲ、附ケタノデア
リマス。(ね)然ルニ、
其頭ト、嘴モ、亦、非
常ニ、長イカラ、其
脚ガ長クテモ、泥
鱈ヤ、小魚ヲ捕ル

鶴ノ翅羽ハ、純毛ハ、何ニナリマス。

鳥類中テ、何ガ一番、大ナ鳥デアリマスカ。其身長ハ、何程アリマスカ。其脚ハ、ドウ

二、差支、ハアリマセン。此種類ノ中テ、我邦ニアアル、重ナルモノハ、鷺(サギ)第二十七圖、蒼鷺(オオサギ)、五位鷺(イナバネサギ)、鶴(トビ)、鶺鴒(シロトビ)等デアリマス。此内、鶴ハ、品格ノアル鳥デアリマス。カラ、我國デハ、古來、最之ヲ、愛養シマス。(左)其翅羽ハ、箭ノ羽ヤ、羽箒ニナリマス。又、其純毛ハ、綿ニ雜ヘテ織物ヲ製シ、又ハ、粧飾具ニ用ヒマス。

第二十七章。駝鳥類(走禽類)又、歩走類。

諸君ハ、既ニ、獸類中デハ、鯨ガ一番、大イコトヲ、知リマシタカラ、今度ハ、私ガ、鳥類中デ、一番、大ナモノヲ、諸君ニ、御話致シマセウ。(右)亞弗利加ニ、駝鳥(第二十八圖)ト云フ、鳥ガアリマスガ、其身長ハ、七八尺以上モアリテ、其兩翼ハ、極メテ、短クアリマス。カラ、空中ニ、飛揚スルコトハ、出来マセン。然シ、走ルコトハ、馬ヨリモ、速デアリマス。其脚ニハ、二趾ヨリ外

スリマスカ。

亞非利加ノ駝鳥ト亞

米利加ノ駝鳥ト亞

鳥ハドウ違

ヒマスカ。

①駝鳥ノ羽ハ何ニナリマスカ。

第二十八圖



駝鳥

鳥類中大最、大ナル鳥アリテ、身長ハ七八尺モアリ、其趾ケルコトハ馬ヨリモ違テス。

ハ、アリマセン。此鳥ハ、其卵ヲ、砂漠中ニ埋メテ、太陽ノ熱デ解化サセマス。②亞米利加ニ産スル、駝鳥ハ、身長ガ、六尺計、其脚ニハ、三趾アリマス。又、濠洲ノ食火鶏ハ、三趾駝鳥ヨリモ、少シ、大クアリマス。其走ルコトハ、稍、遲鈍デアリマス。

③此等ノ鳥ハ、翼羽ヤ、尾羽ハ、帽子杯ノ飾、ニ用ヒマスカ。價ガ高クアリマス。亞非利加ノ駝鳥ハ、實ニ、今日人最、巨大ナ鳥ニハ、違テアリマセン。ケレドモ、若シ之ヲ

太古、マダガスカルヤ、ニューゼーランド邊ニ棲ンダ食火鶏ノ一種ニ、比スレバ、寧小鳥ト、云ハネバナリマセン。尤此鳥ハ、今ハ、何處ニモ、生息シマセンカ。其形ヲ測ルタメノ、考物ハ、唯、其二三ノ骨ト、卵デアリマス。其卵ハ、恰、駝鳥ノ卵ノ六倍、即、鷄卵ノ百五十倍モアリマス。

第二十八章 有蹼類(水禽類)

諸君、私が昨日、隣家デ、貰フテ置イタ、此鴨ノ足ヲ、御覽ナサ。是迄、私が、諸君ニ、御話申シタ、モノトハ、違ヒ、(其足趾ノ間ヲ、皮膚デ、張詰メテ居マス。之ヲ、蹼ト申シマス。其蹼ハ、鴨ガ、足ヲ、前ノ方ニ、出ストキハ、自ラ、疊マリテ、少シモ、水ニ、逆ラヒマセン。然ルニ、若シコレヲ、後ノ方ニ、搔クトキハ、其反働デ、趾ガ、自然ニ開キ、水ニ逆ラフカラ、鳥ハ、前ニ、進行シマ

④鴨ノ足趾ノ間ニハ、何ガアリマス。カ。⑤蹼ハ、泳グルハ、ドウナリマスカ。

飛雁ハ鴨ヤ、鴨ヤ、飛雁ハ鴨ヤ、鴨ヤ、唯、泳グ文、デス

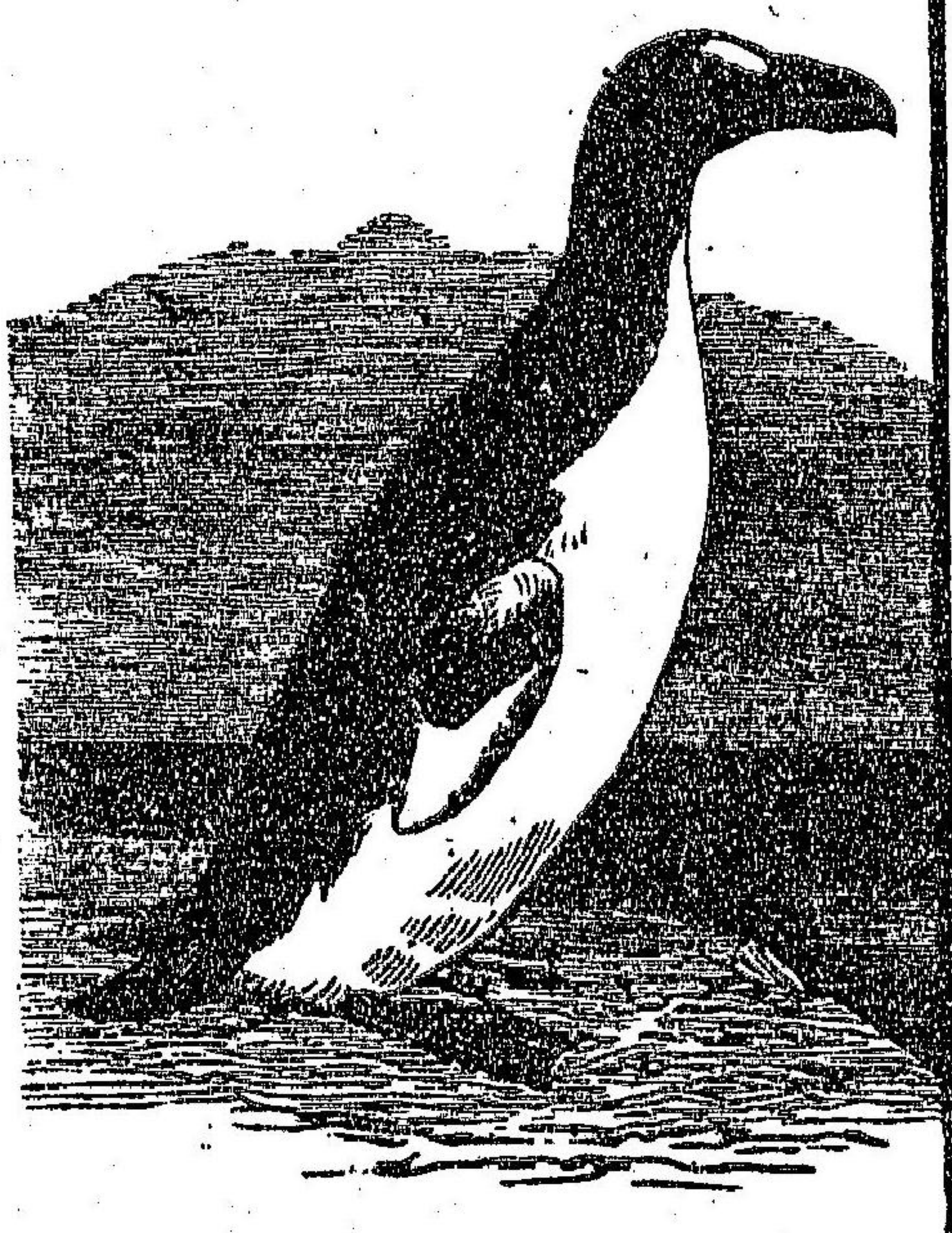
雁ハドウ、云フ鳥デア、リマスカ。

白鷗ト、信天翁ハ何處ニ住リマスカ。カ、蓬塘鵞ト、鷗ノ趾ハドウアリマスカ。

此種ノ足又持チテ居ル鳥ヲ有蹠類又ハ水禽類ト申シマ
ス。此種類ノ中デ雁ト鴨ト鷺ト鵞ト泳グコトモ出來レ
バ、飛揚スルコトモ出來ルガ唯、步行クコトハ極メテ遲鈍
デアリマス。此等ノ鳥ニハ、皆、區クテ、大ナ、嘴ガアリテ、其嘴
ニハ、齒ノ用ヲ勤ムル、小ナ、鋸刃ノ様ナモノガアリマス。此
此内、雁ハ、移住鳥ノ一デ、秋ニ來テ、春ハ去リマス。此鳥ハ、常
ニ、必隊ヲ結ビ、列ヲ正シテ、飛行シマス。其肉ハ、脂ガ多クテ
滋養ニナリマス。カ、白鷗ハ、常ニ、海濱ニ住スル鳥デ、信天翁
ハ、小笠原島邊ニ、住ム鳥デアリマス。右ノ二鳥モ、能、飛揚シ
マスガ、其嘴ハ、尖リテ居マス。カ、塘鵞ト、鷗ノ蹠ハ、唯、三趾
ヲ、包ム計、デナク、其後趾マデモ、包ンデ居ルカラ、前ノ諸鳥

鵞トハ何ノ用ニナリマスカ。

第二十九圖



ペンギン 此鳥ノ翼、水中ヲ泳グトキ、用ス、勤マスカ。

ペンギン、何處ニ棲シトアウシマスカ。此三鳥ノ翼ハ何ノ用ヲ勤メマスカ。

ペンギン、第二十九圖ハ、北海ノ濱ニ、群居スル鳥デア
ルコトハ、出來マセン。其翼ハ、唯、水中ヲ、泳グ時ニ、鰭ノ代
ヲ、勤メマス。

ヨリモ、一層完全ナ、有蹠類ト云ハ、ネバ、ナリマセシ。其内、鷗トハ、生魚ヲ捕ル、カ、巧ミデスカラ、漁師ハ、之ヲ、飼フテ、魚ヲ捕ラセマス。之ヲ、鵞飼ト申シテ、美濃ノ長柄川杯ハ、最、其名所デアリマス。

第二十九章 燕雀類(小鳥類)

(一)鳥類中第一番區域ノ廣イ類名ハ何ト申シマスカ。

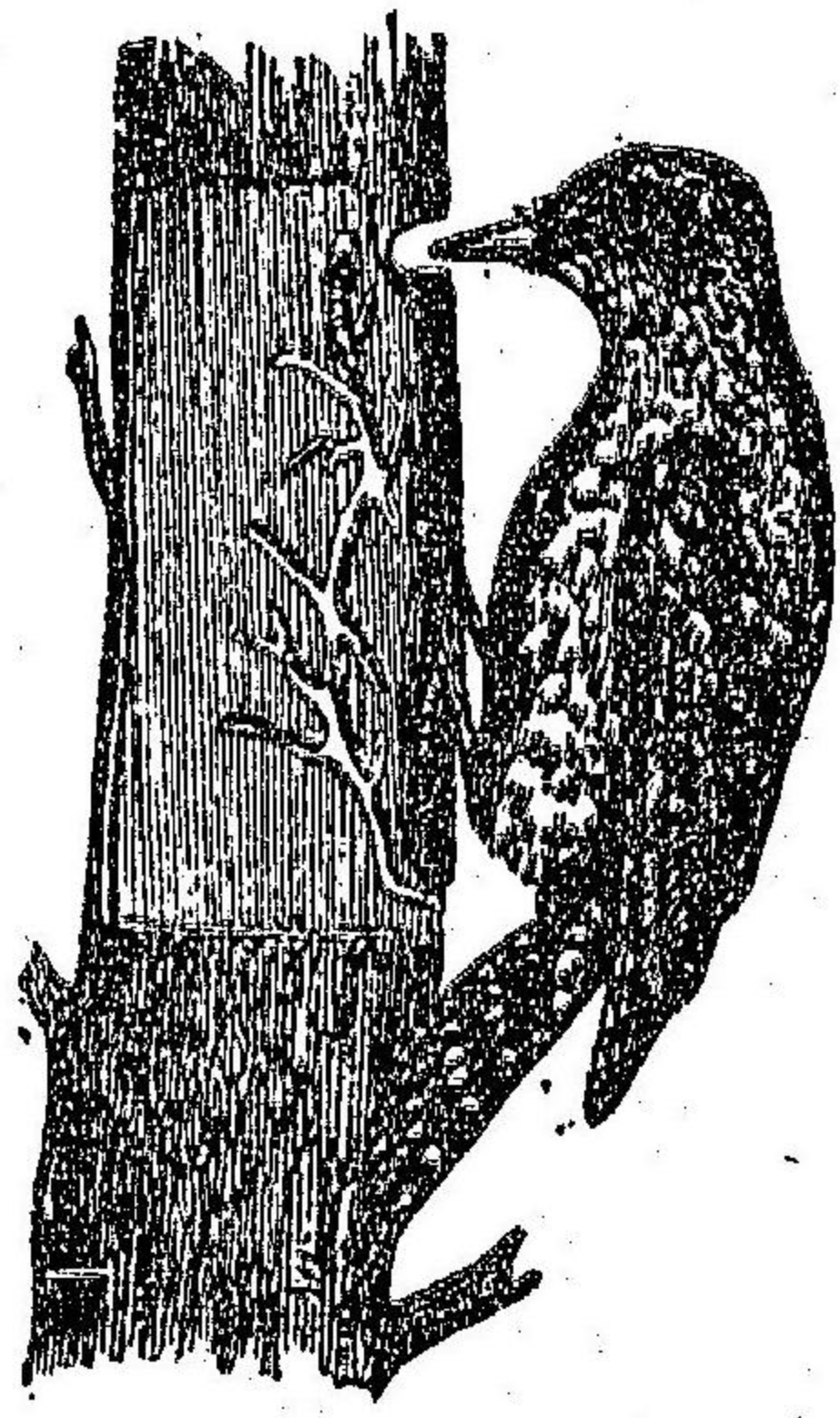
(二)啄木鳥ト杜鵑ノ趾ハドウナリテ居マスカ。

(三)啄木鳥ハ森林ニ害ヲシマスカ。又ハ益ヲ興ヘマスカ。

(一)燕雀類ハ最區域ノ廣イ鳥類ナルカラ、前ニ御話申シタ種類ニ屬セヌ小鳥ハ、大概種類中ニ屬シマス。此種類中ニハ、實ニ色々ナ鳥ガアリマス。(二)先彼啄木鳥、三十圖ヤ、杜鵑ノ様ニ、其二趾ハ前ニ向ヒ、他ノ二趾ハ後ニ向ヒテ、居ルモノモアリマス。杜鵑ノ聲ハ、一種奇妙大音調ナルカラ、古來詩人ヤ歌人ハ能ク之ヲ詩ヤ歌ニ作込マス。(三)又啄木鳥ハ我森林ノ樹木ニ害スルト云フ人モアリマスガ、實ハ寃罪デアリマス。此鳥ハ唯樹ニ寄

第三十圖

啄木鳥



此鳥ハ木ヲ傷フモノデハアリマセシ。唯其中ニ滑ンデ居ル蟲ヲ食ヒマス。

アリマス。此鳥ハ唯樹ニ寄

生ズル昆蟲杯ヲ啄出シテ食ヒマスカラ、却テ樹木ノ害ヲ除クモノデアリマス。

(四)鴨ノ嘴ハドウアリテ、何ヲ食ヒマスカ。

(五)鴨ノ嘴ハドウアリテ、何ヲ食ヒマスカ。

(六)鴨ノ嘴ハドウアリテ、何ヲ食ヒマスカ。

(一)次ニ鷺鳥類ノ様ニ、曲ガリタ嘴ガアリテ、昆蟲ヤ、小禽杯ヲ捕食フモノモアリマス。鴨ハ即其種類デアリマス。(二)又鷓鴣ヤ、鶯ノ様ニ、昆蟲ヲ捕ルニ、便利大細長イ嘴ノアル鳥モアリマス。(三)此内、鶯ノ聲ハ最微妙デアリマス。カ、古來皆之ヲ愛養シマス。又、燕ノ様ニ、蚊杯ヲ捕ルニ、適當大濶ク、開ク所ノ嘴ヲ持チテ居ルモノモアリ、雲雀ヤ、雀ヤ、鶯ヤ、四十雀ノ様ニ、穀類ヲ啄ムニ適スル短クテ、強イ嘴ノアルモノモアリ。(四)又、鵲、鸛、鴉等ノ様ニ、其嘴ハ、鶴嘴鋤ノ様ニ用ヒテ、地ヲ掘リ、死肉ヲ啄切ルモノモアリマス。此燕雀類ノ鳥ハ、實ニ澤山大種類デアルカラ、鳥屋ヤ、鳥刺

デモ、悉之ヲ知リテ、居ルモノハアリマセン。

摘要

鳥ニハ、角質ノ嘴ト、羽ト、翼ト、兩足ガアリテ、其兒ハ、皆卵生デアリマス。

卵ハ、石灰質ノ硬イ殻ト、卵黄ト、卵白カラ、出來テ居マス。其卵黄ノ上ニハ、胎點ト名クル。一種ノ小白點ガアリマス。卵ガ孵ヘルトキハ、此胎點ガ、雛トナリマス。

自然ノ法デ、卵ヲ孵ヘスニ、必要ナ熱ヲ、與フルモノハ、母鶏デアリマス。併、孵卵器ヲ用フレバ、人エデモ、之ヲ、孵化サスルコトガ、出來マス

鷲鳥類。鷲鳥類ハ、鋭イ鉤狀ノ嘴ト、長クテ、鋭イ爪ト、長クテ、尖リタ翼ヲ、持チテ居ルカラ、其翔ルコトハ、極メテ、疾クアリマス

此類ノ中ニハ、晝間ニ、其餌食ヲ、捕ルモノモ、アリマス。之ヲ、啗肉晝禽ト、申シマス。或ハ、夜陰ニ、之ヲ、獵ルモノモ、アリマス。之ヲ、啗肉夜禽ト、申シマス。

啗肉晝禽中デ、鷲ハ、動物ノ死體ヲ食ヒ、鷲ハ、生物ヲ捕食ヒマス。鷹ハ、之ヲ、飼養シテ、狩ニ用フルコトモ出來マス。鷓鴣族。鷓鴣族ハ、啗肉夜禽デアリマス。鼠ヤ、鼯鼠ヲ捕

リテ、我々ノ、害ヲ除クカラ、之ヲ、保護セネバ、ナリマセン。鸚鵡類。鸚鵡類ハ、唯、暖地ニ、棲ム鳥デ、能人ノ口真似ヲ、致シマス。

鴿類。鴿類ニハ、鳩ト、鴿ト、二種ガアリマス。鴿ハ、飼養シテ、信書ヲ、遠方ニ、送ルコトモ、出來マスカラ、一名、之ヲ、傳書鳩トモ、申シマス。

雌鷄類。此種類ニ屬スルモノハ、多少其形ガ雌鷄ニ似テ居ルカエ之ヲ雌鷄類ト申シマス。即、雉、孔雀、松鷄、山鷄、吐綬鷄等デアリマス。

徒涉類。徒涉類ニ屬スル鳥ハ、概細長イ脚ト、首ヲ持チテ居マス。夫デ池ヤ、沼杯ニ立チテ魚類ヲ捕リマス。即、鶴、鷺、蒼鷺、五位鷺、鶴、秧鷄等ガ其主要大種類デアリマス。

駝鳥類。駝鳥類ハ鳥中デ最大ナ鳥デアリマス。亞弗利加ニ産スルモノハ、其身長七八尺モアリ、其翼ハ短イカ

エ、飛揚スルコトハ出來マセン。然シ、此翼ヲ利用シテ、馳ケルコトハ馬モ及ビマセン。

有蹠類。有蹠類ハ其名ノ如ク、足ニ蹠ノアル鳥デアリマス。之ヲ委ク言ハバ、皮膚デ其足趾ヲ連ネテ居ルモノ

デアリマス。此蹠ハ實ニ此種類ノ鳥ヲ自在ニ泳ガセルモノデアリマス。雁、鴨、鸕、鶂、白鷗、信天翁、塘鵝、鷓鴣、ペンギン

イ、アウク等ハ、即有蹠類ノ鳥デアリマス。

燕雀類。右ニ述ベク種類ニ屬セヌ小鳥ハ、總ベテ之ヲ燕雀類ト申シマス。啄木鳥、杜鵑、鷓、鷺、鷺、燕、雲雀、雀、鶯、四十

雀、鵲、鸚鵡等ハ、即其重ナモノデアリマス。

第三 爬虫類。

第三十章。龜類。

五 龜ハ、鳥ノ様ナ、角質ノ嘴ト、四足ト、之ヲ包ンデ居ル甲トヲ持チテ居マス。(シ)其種族ノ内ニハ、陸ニ棲ムモノモアレバ、沼ヤ、淡水ニ棲ムモノモアリ、又海ニ棲ムモノモアリマ

ス。(急)陸ニ棲ムモノヲ、素龜(第三十一圖甲ト申シテ、短イ足

五 龜類ノ形又告グ給ヘ。(シ)龜類ハ、ドシナ場所ニ棲イマスカ。(急)陸ニ棲ム、龜ノ名ハ、何

ト申レドシ
大形デスカ

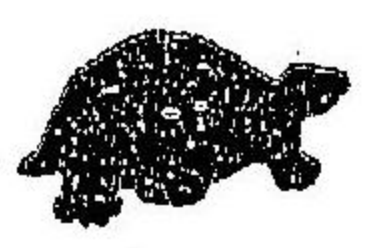
①海ニ棲ム
龜ノ名ハ何
ト申レドシ
ナ形デスカ

②蟾龜ハ肉
ト甲トハ何
ニナリマス
カ

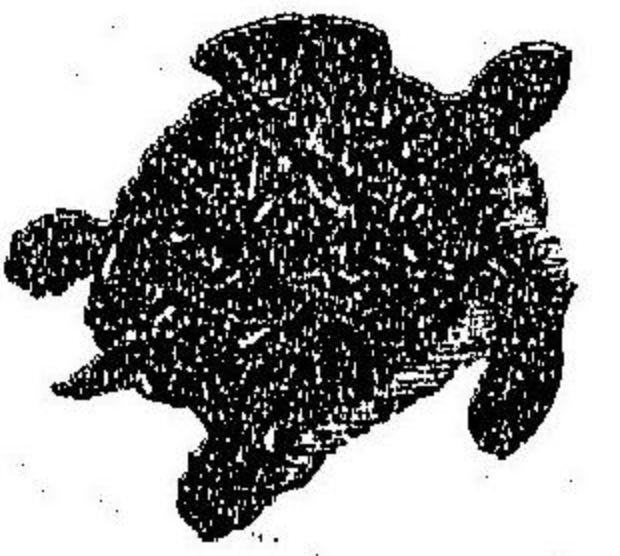
③淡水ニ住
ムモノハ何
カ

ト、曲ガリ夕甲ヲ持チテ居マス。其甲ハ、大變硬イカラ、大サ、
四寸位ノ龜ニハ、人が乘リテモ、少シモ、其甲ヲ傷メマセン。

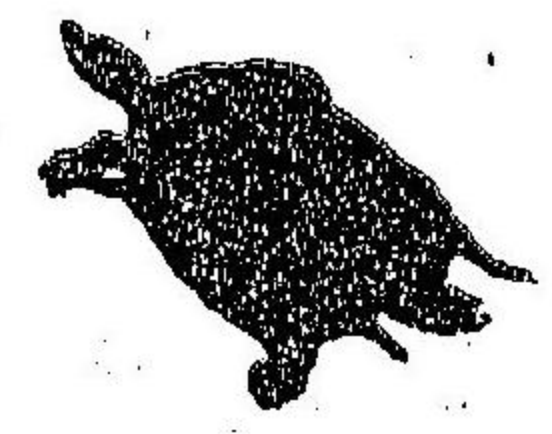
秦龜 甲



蟾龜 乙



水龜 丙



①海ニ棲ムモノヲ、蟾龜(第三十一圖乙)
ト申レテ、匾イ甲ト、長ク、權ノ様ナ足ヲ、
持チテ居マスカラ、水中ノ運動ガ、自由
ニ出來マス。小笠原嶋デハ、澤山捕レマ
スガ、②其肉ニハ、結構ナ味ガアリマス。
彼ノ櫛ヤ、筭ヲ作ル、鼈甲ハ、此蟾龜屬中、
ノ瑠瑠ト云フ、龜ノ甲カラ取リマス。
③淡水ニ棲ムモノヲ、水龜(第三十一圖

第三十一圖

ト申レ、其姿
ハ、ドウアリ
マスカ
④鼈ノ甲ト、
内ハドウア
リマスカ。

⑤蜥蜴類中
テ、最大ナモ
ノハ、何デア
リマスカ。
ドコニ住ミ
マスカ。

第三十二圖 鱷



鱷、長ク、二丈四尺
モアリテ、人ヲ、傷
フコトモ、アリマ
ス。

丙ト申レテ、其姿ハ秦龜ト、
蟾龜ノ間デアリマス。④彼
ノ鼈モ、淡水ニ棲ミマスガ、
其甲ハ、他ノ龜程、硬クハア
リマセン。肉ハ、至極美味デ、
且、滋養ニナリマス。

第三十一章 蜥蜴類

⑤此種類中デ、最大ナモノ
ハ、鱷デアリマス(第三十二
圖)。此動物ハ、最モ恐ルベキモ
ノデ、時々、人類ヲ害スルコ
トガアリマス。亞細亞、亞弗

利加亞米利加ノ諸大河ニ棲ミ其長サ二丈四尺ニ達スル
モノモアリマス。先日香具師ガ龍ノ子ト申シテ祭禮ヤ縁
日杯ハ觀物ニ擔廻リタモノハ其實鰐兒デアリマシタ。

(五) 蜥蜴類中
最奇妙ナ
モノハ何デ
ス。

(五) 蜥蜴類ノ内最奇妙ナモノハ地中海近傍ニ居ル變色蜥
蜴(避役)又十二時蟲デアリマス。此動物ハ自分が喜ブキト
怒ルキト天氣ノ晴レタキト陰リタキトハ青黃黑等種々
ニ皮膚ノ色ヲ變ジマス。

(六) 蜥蜴ノ尾
ニハドント
奇妙ナ性質
ガアリマス
カ。

(六) 蜥蜴ハ諸君モ御承知ノ通尾ガ脆クテ一寸之ヲ打チテ
モ直ニ切レマス。サウレテ其切離シタ尻尾ハ長イ間活キ
テ居マス。然レ極便利ナ一ニハ其切口カラ木ノ芽ヲ吹ク
様ニ新シイ尾ヲ生ジマス。彼ノ蜥蜴ニ少シ色ノ變ハリタ
尾ノアルノハ皆其芽生ノ尾デアリマス。人類ニハ四肢ヲ

切斷シタ後ニ新芽ノ生ヘナイノハ實ニ一大不幸デア
リマセンカ。

第三十二章 蛇類。

(七) 蛇類中恐
ルマキモノ
ノ名ヲ示シ
給。

(七) 蛇類ノ中ニハ物ヲ咬ムキニ牙カラ毒液ヲ分泌スルモ
ノガアリマス。若此等ノ蛇ニ咬マレルキハ非常ナ痛ヲ起
コシ事ニ依レバ之ガ爲ニ死ヌルモノモアリマス。ソレデ
之ヲ有毒蛇ト申シマス。蝮蛇ヤ琉球ニ居ル飯匙倩杯ハ即

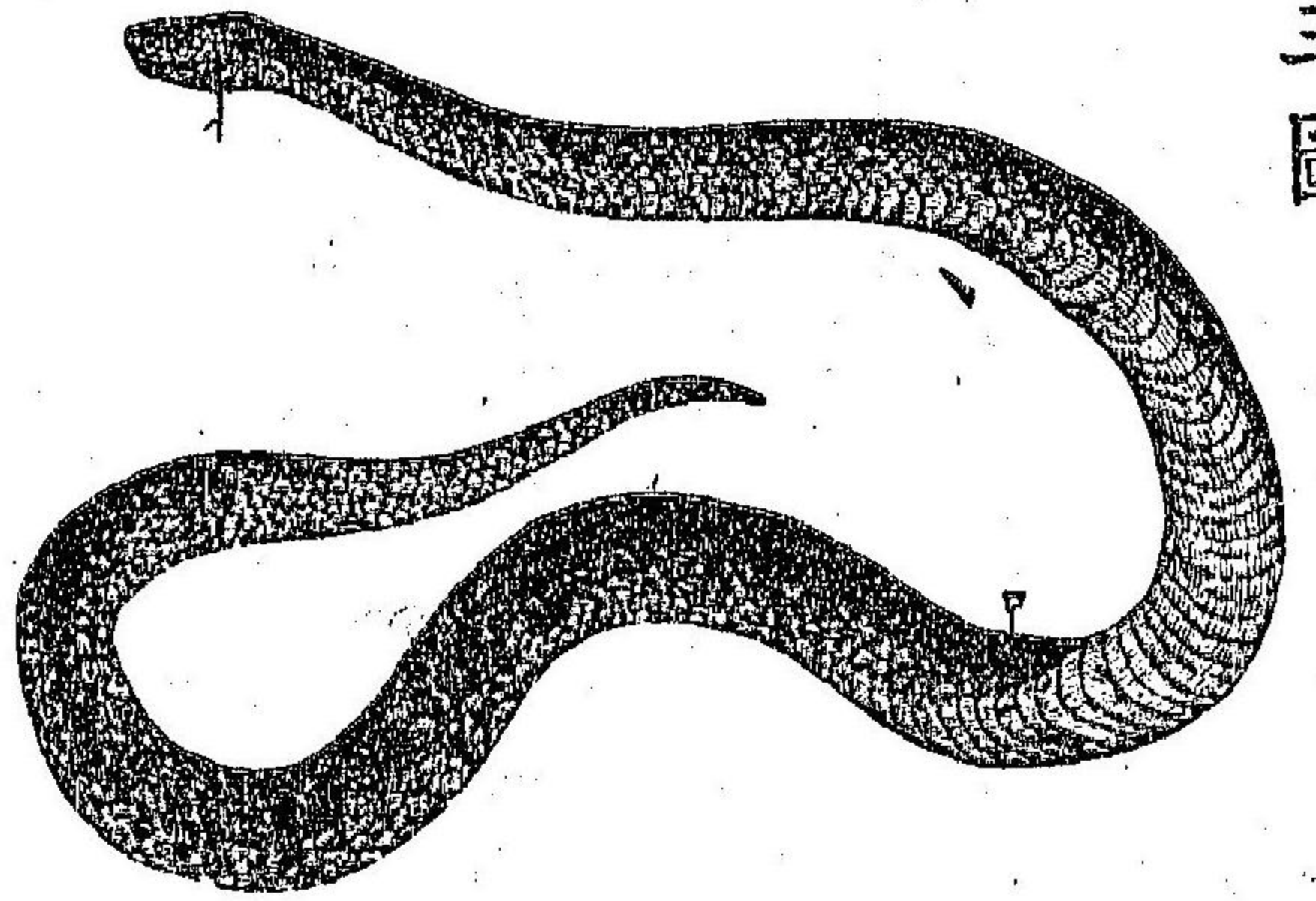
(八) 胎生ノ爬
蟲又皆給
ハ。
(九) 我國ノ蝮
蛇ハ卵生デ
アリマスカ。

此種類デアリマス。爬蟲ハ大抵卵生デアリマスガ(八)我國
ノ(九)蝮蛇ハ胎生デアリマス。現ニ私(編者)ガ先年京都ノ丸
山真葛ヶ原ニ居タ時分家僕ガ一足ノ大ナ蝮蛇ヲ庭前ノ
叢中デ見出シマシタ。ソコデ之ヲ捕リ其皮ヲ剥ガセタル
バ五匹ノ子が胞衣ヲ被ブリテ居マシタ。私ガ其胞衣ヲ火

第三十三圖

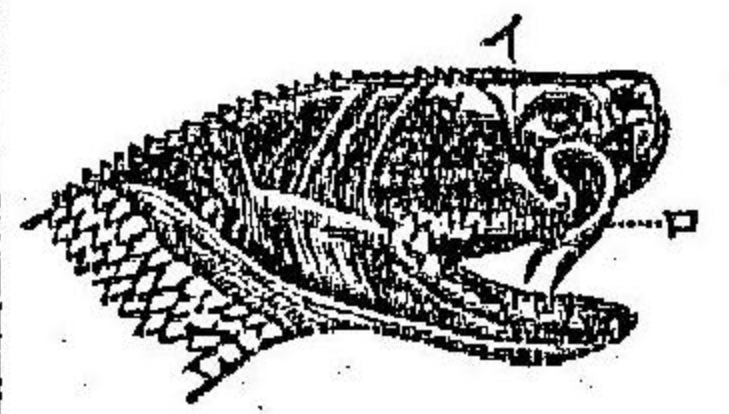
胎内ノ子
蛇ト親蛇ト
違フ點又告
グ給フ。

蝮蛇ノ胎兒
五匹ノ中ノ
一匹デアリ
マス。未太陽
ノ光線ヲ受
ケナイカエ、
其尾先一寸
程ハ黄白色
デアリマス。
長六寸八分、
頭ノ周圍(イ)
八分五厘、
胴ノ周圍(ロ)
九分五厘。



同頭部(正面カ)
見タ圖

同解剖ノ圖
(イ)ハ毒液ノ
入りテ居ル
袋(ロ)ハ毒液
ヲ注入スル
所ノ穴リタ
管ヲ



箸テ衝破リマシタ。スルト、中
ノ子蛇(第三十三圖甲)が這出
シテ、其火箸ニ、咬付キマシタ。
其中、一匹ハ、人ニ、遣リマシタ
ガ、他ノ四匹ハ、今ニアルコト
ル中ニ、漬ケテ、持チテ居マス。
(乙)子蛇ノ親蛇ニ、違フ所ハ、其
尾先ノ色が、未日光ヲ受ケヌ
爲ニ、少々、黄白色又、帯ビテ居
ル丈デアス。彼ノ時、家僕ガ、其蝮
蛇ヲ、見出スコトガ、遅クテ、若
之ニ、咬マレタナラバ、輕クモ、

蝮蛇ノ毒
ハドコニア

大熱、又ハ、脱疽ヲ發コシ、重ケレバ、一命ヲ失フタカモ、知レ
マセン。之ヲ思ヘバ、實ニ、身ノ毛モ、彌立ツ様デアリマス。松
尾君、君ハ、變ナ顔ヲシテ居マスネ、ハ、ハ、ハ、私ノ話ヲ、無用ノ
話ト、思フテ居ラレルノデセウ。然シ、西洋ノ動物學者ハ、大
抵、爬蟲ハ、皆卵生ダト、云ヒマスカラ、私ハ實地經驗カス蝮
蛇丈、否、私ノ見タ蝮蛇丈、ハ、胎生デアルト、云フコトヲ、御話
致シタノデアリマス。イ、エ、サウデハ、アリマセン。私ハ、
先日、蛇使ノ觀物ヲ見マシタガ、其内ニ、蝮蛇モアリマシタ
蛇使ノ手ヤ、足ヲ咬ミマシタガ、少シモ、毒ノアル様ニハ、見
エマセンデシタ。若、御話ノ様ニ、劇イ毒ガ、アルナラバ、蛇使
ハ、即座ニ、病氣セネバナラヌト、思ヒマス。ア、ハ、其不審デ
スカ。ソレナラ、直ニ、其疑ヒ、晴ラサセテ上ゲマセウ。(乙)總ベ

リマスカ。其毒液が傷口ニ入ル順序又告ゲ給

①ドウスレバ、蝮蛇モ無害トナリマスカ。

②外國ニ住ム毒蛇ノ種類又毒ガ給

天蛇ノ毒液ハ長ク尖リタ牙(第三十三圖乙)ノ根(口)ニアル袋(イ)ニ入りテ居マス。サウシテ、此牙ニハ、屈リタ脉道ガアリテ、其根元ノ口ハ、袋ニ通ジテ、居マス。夫デ、蛇ガ、物ヲ咬メバ、此牙ハ、袋(イ)ヲ壓スルノデ、一滴ノ毒液ガ、彼ノ牙中ノ脉道ヲ通リテ、其傷口ニ入ルノデ、アリマス。(ウ)ソレデ、若シ此兩傍ノ牙又抜去ル片ハ、假令之ニ、咬マレテモ、害ヲ受クルコトハ、アリマセン。其蛇使、蝮蛇モ、此毒牙又抜去リテアルカテ、少シモ、害ヲ加ヘナイノデ、アリマス。

③然シ、亞弗利加砂漠ニ居ル角蛇ヤ、亞米利加ノ尾響蛇ヤ、印度ノゴブラ杯ニハ、蝮蛇ヨリモ、一層劇イ毒ガアリマス。ソレデ、若シ一度、此等ノ蛇ニ、咬マル、片ハ、決シテ、活クルモノハ、アリマセン。西曆千八百七十年ニ、英領印度中テ、ゴブ

④亞米利加ニハ、ドレンナ蟻ハ、棲ミマスカ。

ラノ爲ニ、咬殺サレタモノガ、二萬六千人モアリマシタ。此蛇ハ、亞米利加ノ尾響蛇ノ様ニ、尾ヲ鳴ラシテ、人ニ知ラスルモノナク、不意ニ、樹杯ノ上、カラ、通行人ニ、飛掛カルサウデス。

此他ノ蛇ハ、唯、纏緊ムル丈デ、アルカラ、非常ニ、大ナモノデ、ナケレバ、決シテ、恐ル、ニハ、及ビマセン。(5)南亞米利加ノ蟻ハ、即、其一種デアリマス。此蛇ハ、長サ二丈七尺モアリテ、牛サハモ、緊殺シテ、餌食トスル位デスカラ、人杯ハ、實ニ、取ルニ足リナイ、餌食デアリマス。我國ノ黃領蛇ヤ、赤棟蛇ハ、蟻ノ様ニ、長大デ、ナイカラ、殆、害ヲ、加フルコトハ、アリマセン。

摘要

爬蟲類。爬蟲類ハ、互ニ、其形ガ、違フテ居マス。此類中ニハ、龜ト、蜥蜴ト、蛇トハ、三類ガ、籠リテ居マス。

龜類。 龜類ニハ、鳥ノ様大角質ノ嘴ト、四足ト、其體ヲ包ム、甲トガアリマス。

龜類中ニハ、陸ニ棲ムモノモアレバ、沼ヤ、池ノ淡水ニ棲ムモノモアリ、又、海ニ生息スルモノモアリマス。其最大ナモノハ、六尺以上ニ達スルモノモアリマス。

蜥蜴類。 蜥蜴類中、最大ナモノハ、鱈デアリマス。其長サ、二丈四尺以上ノモノモアリテ、人類ヲ害スルコトモアリマス。

地中海近傍ニ棲ム、避役ハ、己ノ喜怒ト、天ノ霽陰等ニ依リテ、其皮膚ノ色ヲ種々ニ變ズルコトガ、出來マス。

普通ノ蜥蜴ハ、其尾ガ、極メテ、脆弱デアリマス。夫デ、容易ニ、切レマスガ、更ニ、新尾ヲ生シテ、又、元トハ、長サニ、達シマ

ス。

蛇類。 蛇類中ニハ、有毒ノモノト、無毒ノモノトハ、二種ガアリマス。

南亞米利加ノ蟒ハ、無毒蛇ノ、類デアリマス。此等ノ蛇ハ、三丈七尺以上ノ、長サニ、達スルモノモアリマス。夫デ、大ナ動物デモ、唯、之ヲ纏投シテ、餌食ニ致シマス。

我邦ニ住ム、蛇ハ、多クハ、無害デアリマス。然シ、蝮蛇ニ咬マル、キハ、發熱シテ、傷口ガ脹起シ、或ハ、脱疽ノ原因トナリ、甚シキハ、死ニ陥ルコトモアリマス。

此毒液ハ、牙ノ根ニアル、一種ノ袋中ニ、入リテ居マス。夫テ、若、蝮蛇ガ、人獸ヲ咬ムキハ、牙ガ、其根ノ袋ヲ壓レテ、一滴ノ毒ヲ、牙心ノ脉道カラ、傷口ニ、注射シマス。

爬蟲類ハ大抵卵生デアリマス。然シ稀ニハ胎生ノモノ
モアリマス。

作文問題。

- 第一 脊骨動物ト、無脊骨動物 (自一丁 至二丁)
- 第二 猿ノ四肢 (自三丁 至五丁)
- 第三 食蟲類○鼯鼠○猬○鼯○ (自五丁 至六丁)
- 第四 猫ノ爪○猫ノ牙○猫族ノ動物 (自六丁 至八丁)
- 第五 何ヲカ、反芻類ト云フヤ○主要ナル反芻類○其効用如何 (自十八丁 至二十丁)
- 第六 鯨ノ魚ニ異ナル、點ヲ示セ (自二十三丁 至二十五丁)
- 第七 蝙蝠ノ鳥ニアラザル、適証如何 (自二十九丁 至三十一丁)
- 第八 人類○哺乳類ノ特性 (自三十二丁 至三十四丁)

第九 鳥ノ翼○卵ノ解剖○孵化法○人工ノ孵化

第十 爬蟲類ノ三種○龜ノ甲○蜥蜴ノ尾 (自四十六丁 至四十七丁)

第十一 有毒蛇○本邦ノ毒蛇ヲ記セヨ○毒液ノ所在○人ヲレテ死ニ至ラシムル毒蛇ノ種類○無毒蛇○本邦ノ無毒蛇ハ如何 (自四十七丁 至五十二丁)

爬蟲類ハ大抵卵生デアリマス。然シ稀ニハ胎生ノモノ
モアリマス。

作文問題。

- 第一 脊骨動物ト、無脊骨動物 (自一丁 至二丁)
- 第二 猿ノ四肢 (自三丁 至五丁)
- 第三 食蟲類○ 鼯鼠○ 猬○ 鼯鼠○ (自五丁 至六丁)
- 第四 猫ノ爪○ 猫ノ牙○ 猫族ノ動物 (自六丁 至八丁)
- 第五 何ヲカ、反芻類ト云フヤ○ 主要ナル反芻類○ 其効用如何 (自十八丁 至二十丁)
- 第六 鯨ノ魚ニ異ナル、點ヲ示セ (自二十三丁 至二十五丁)
- 第七 蝙蝠ノ鳥ニアラザル、適証如何 (自二十九丁 至三十一丁)
- 第八 人類○ 哺乳類ノ特性 (自三十二丁 至三十四丁)

第九 鳥ノ翼○ 卵ノ解剖○ 孵化法○ 人工ノ孵化

第十 爬蟲類ノ三種○ 龜ノ甲○ 蜥蜴ノ尾 (自四十六丁 至四十七丁)

第十一 有毒蛇○ 本邦ノ毒蛇ヲ記セヨ○ 毒液ノ所在○ 人ヲレテ死ニ至ラシムル毒蛇ノ種類○ 無毒蛇○ 本邦ノ無毒蛇ハ如何 (自四十七丁 至五十二丁)

學理科訓

第一

三系廣雅

彫刻人 東京神田區小川町壹番地 阿部喜三郎

明治廿一年三月十日

印刷出版

定價金貳拾錢

著述者

大分縣平民

小栗栖香平

東京神田區佐久間町三丁目
三十七番地寄附

發行者

牧野善兵衛

東京長橋區通四丁目七番地

發行者

長谷部仲彦

東京京橋區銀座二丁目三番地

發行兼
印刷者

朝香屋

大柴 瀧 劍

東京神田區鍛冶町十七番地

賣

東京通三丁目 九善書店

東京麴町三丁目 文海堂

捌

同下谷練堀町 普及會

大坂北久堂寺町 三水書店

